

東吾妻町
子ども・子育てに関するニーズ調査
結果報告書

令和7年3月

東吾妻町

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	2
II. アンケート調査結果	3
1 あて名のお子さんご家族の状況について	4
2 お子さんの育ちをめぐる環境について	6
3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について	8
4 あて名のお子さんの「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用状況について	17
5 あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業の利用状況について	27
6 あて名のお子さんの「土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業」の今後の利用希望について	32
7 あて名のお子さんの病気の際の対応について	36
8 あて名のお子さんの「不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用」について	40
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について	44
10 子育て支援施策の全般について	50

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第3期東吾妻町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、保育や子育て支援サービス等のニーズ量の把握とともに、子育て世帯の就労等の実態や要望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

- 調査対象者：就学前児童の保護者（配付数 235 件）
- 調査期間：令和6年5月23日～6月7日
- 調査方法：教育・保育施設利用者は、施設を通じた配付・回収
教育・保育施設未利用者は、郵送による配付・回収
- 回収結果：回収件数 207 件、回収率 88.1%

3 報告書の見方

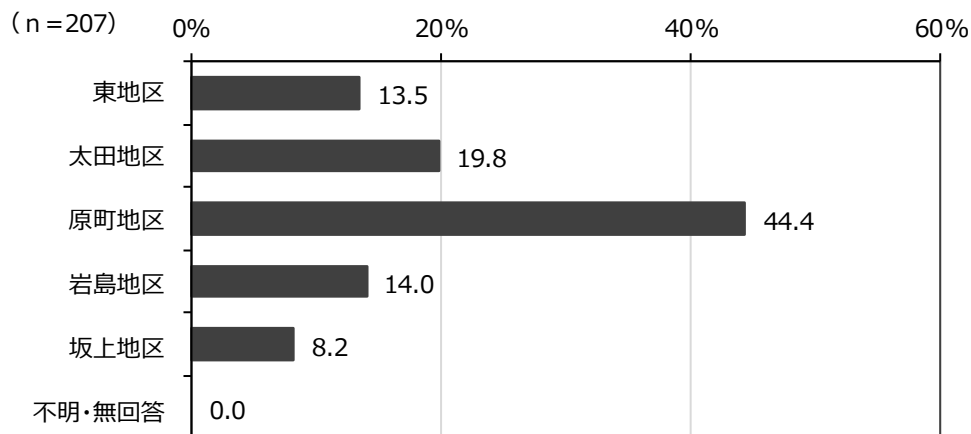
- 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表の「n（number of case）」は、各設問に対する有効標本数（集計対象者総数／あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- またn数（有効標本数）が30未満の項目は、統計上のサンプル数が少ないことから、参考値とします。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

Ⅱ．アンケート調査結果

1 あて名のお子さんご家族の状況について

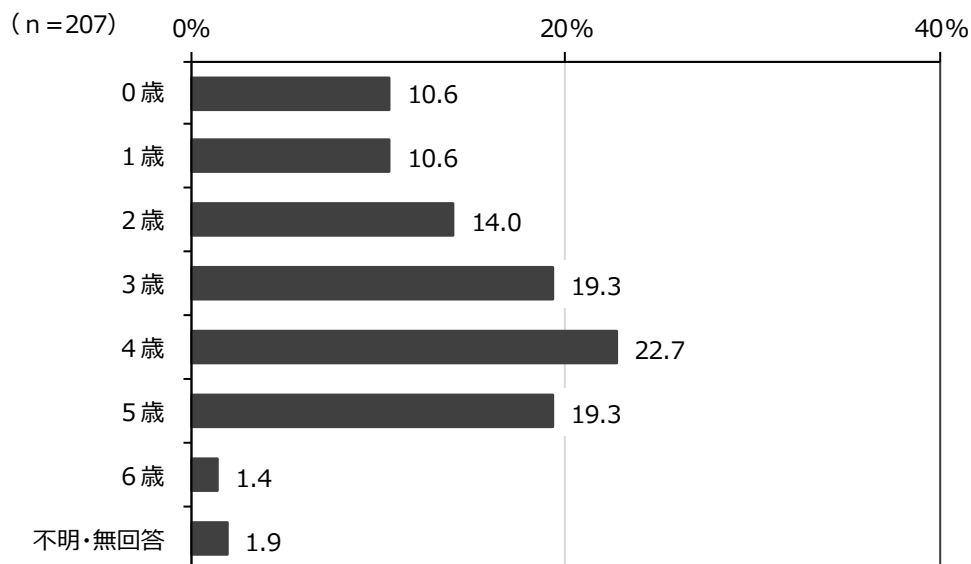
問1 お子さんがお住まいの地区はどちらですか。（単数回答）

「原町地区」が44.4%と最も多く、次いで「太田地区」が19.8%、「岩島地区」が14.0%などとなっています。



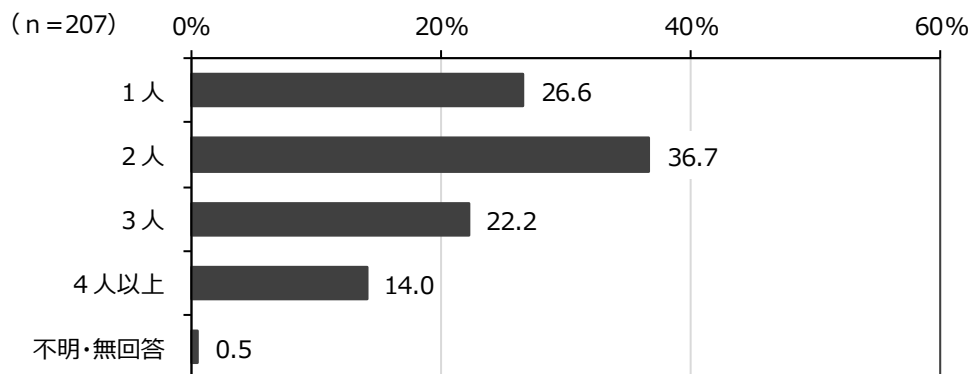
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。（数量回答）

令和6年4月時点の子どもの年齢をみると、「4歳」が22.7%と最も多く、次いで「3歳」と「5歳」がともに19.3%となっています。



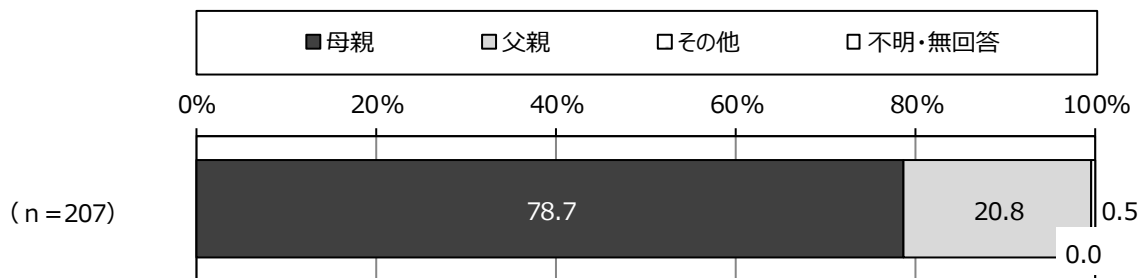
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人ですか。(数量回答)

「2人」が36.7%と最も多く、次いで「1人」が26.6%、「3人」が22.2%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

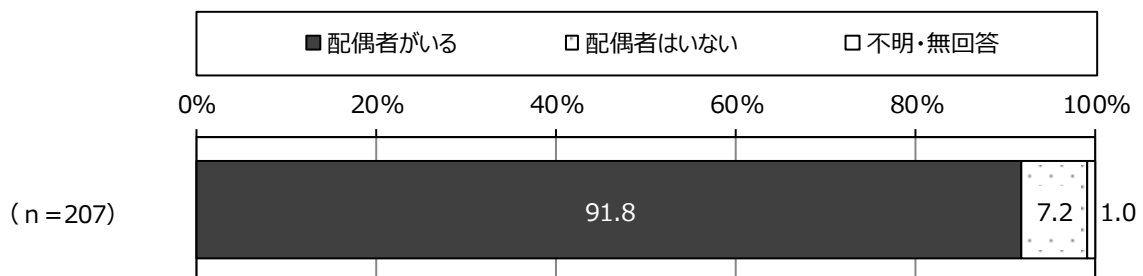
「母親」が78.7%と最も多く、次いで「父親」が20.8%となっています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無についてお答えください。(単数回答)

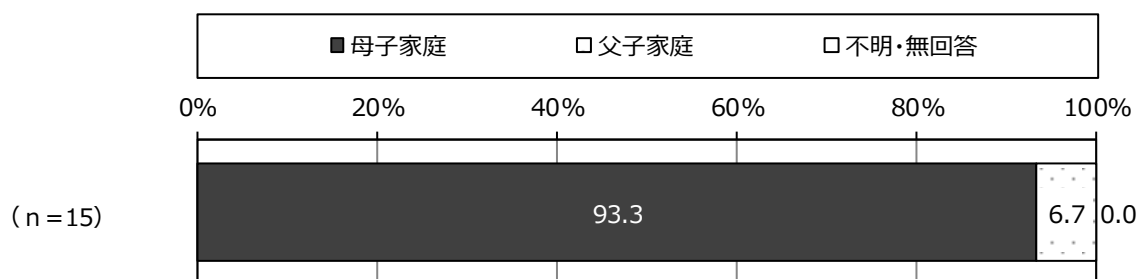
■ 配偶者の有無

「配偶者がいる」が91.8%、「配偶者はいない」が7.2%となっています。



■「配偶者はいない」回答者の家族形態

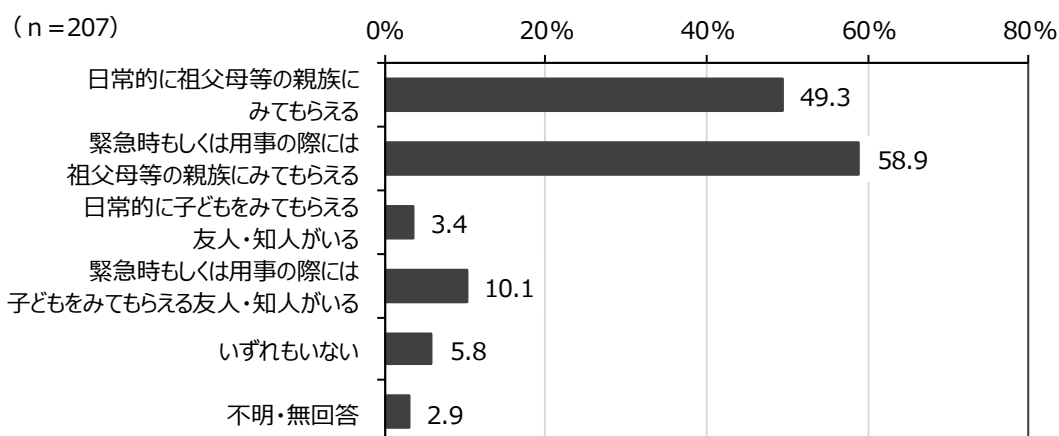
「母子家庭」が93.3%、「父子家庭」が6.7%となっています。



2 お子さんの育ちをめぐる環境について

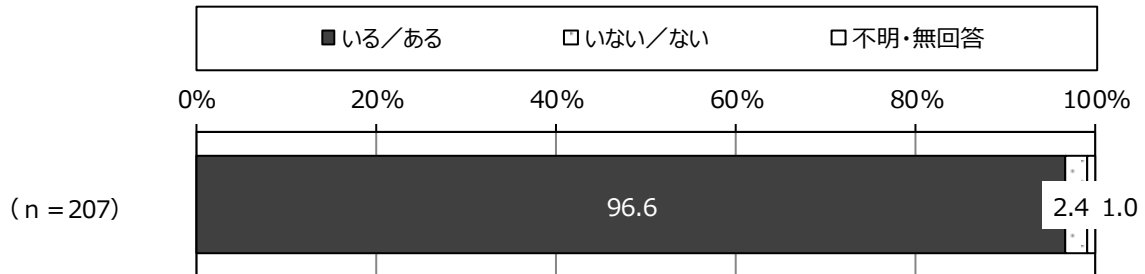
問6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が49.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.1%となっています。また、「いずれもない」が5.8%となっています。



**問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。（単数回答）**

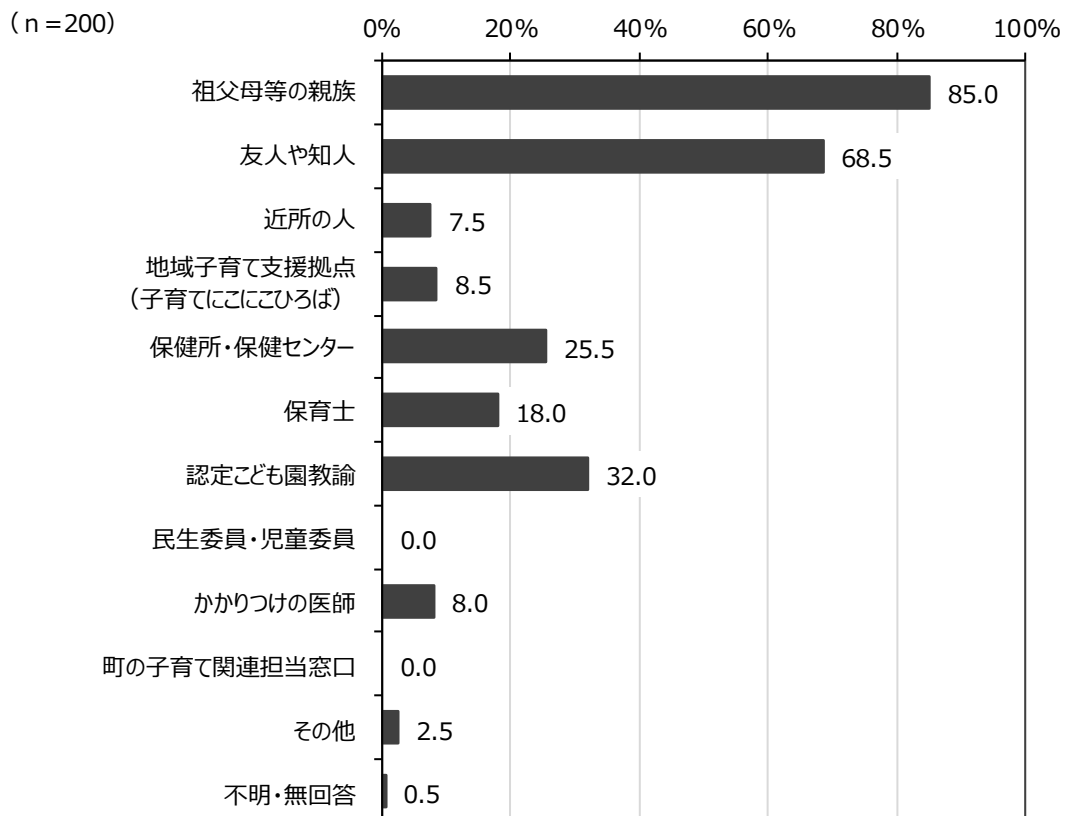
「いる／ある」が96.6%、「いない／ない」が2.4%となっています。



【問7で「いる／ある」に○を付けた方】

**問8 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（複数回答）**

「祖父母等の親族」が85.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が68.5%、「認定こども園教諭」が32.0%となっています。



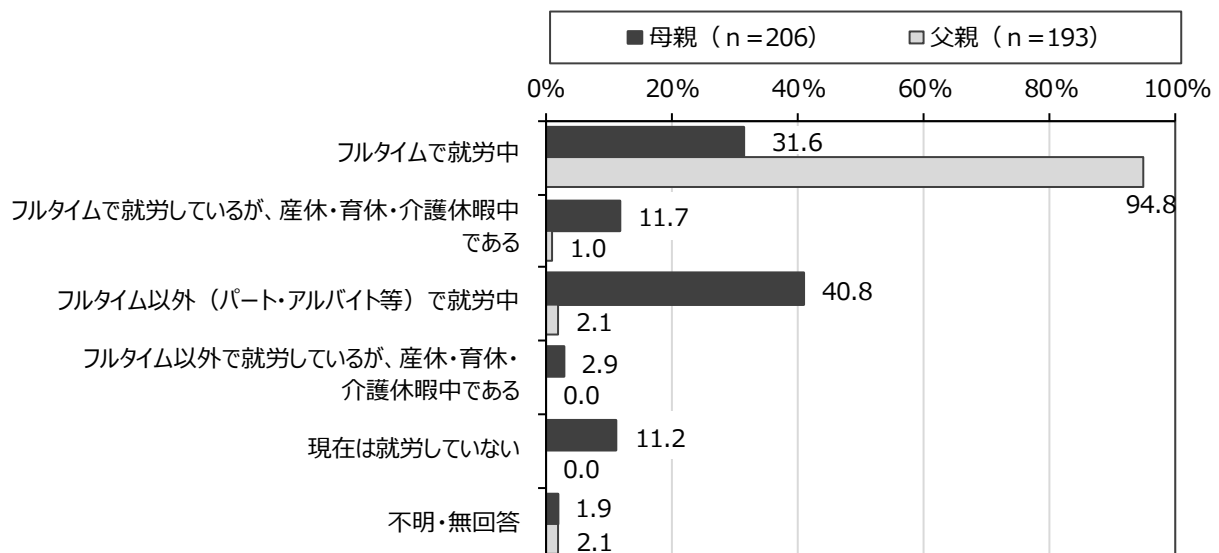
3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（単数回答）

■ 保護者の就労状況

母親の就労状況をみると、「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」が40.8%と最も多く、次いで「フルタイムで就労中」が31.6%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」が11.7%となっています。

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労中」が94.8%と最も多く、次いで「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」が2.1%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」が1.0%となっています。



■ 子どもの年齢別・母親の就労状況

母親の就労状況を子どもの年齢別でみると、「現在は就労していない」以外の項目を合わせた“就労している”では、いずれも70.0%以上となっており、特に子どもが「3歳」以上ではいずれも90.0%以上となっています。

単位:%

	n	就労している	就労していない	無回答
全体	206	86.9	11.2	1.9
0歳	22	81.8	18.2	0.0
1歳	22	81.8	13.6	4.5
2歳	29	75.9	24.1	0.0
3歳	40	90.0	7.5	2.5
4歳	47	93.6	6.4	0.0
5歳	40	92.3	5.1	2.6
6歳	3	100.0	0.0	0.0
不明・無回答	4	50.0	25.0	25.0

※グレー部分は、最多項目

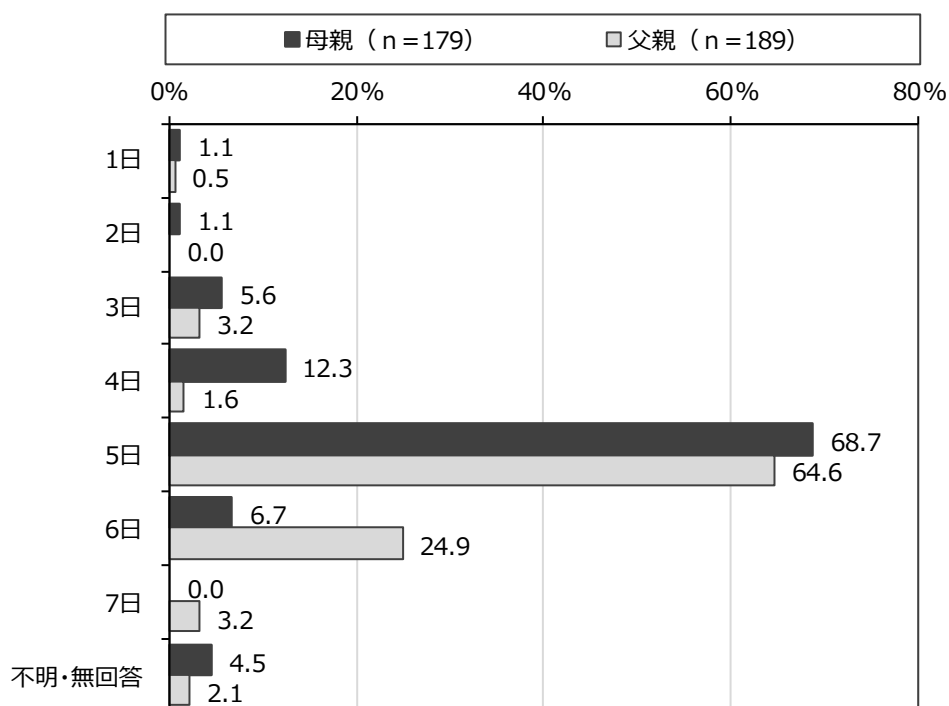
【問9で「現在は就労していない」以外に○を付けた方】

問 10 週あたりの「就労日数」と1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「家に帰る時間」についてお答えください。（数量回答）

■ 1 週あたりの就労日数

母親の就労日数をみると、「5日」が 68.7%と最も多く、次いで「4日」が 12.3%、「6日」が 6.7%となっています。

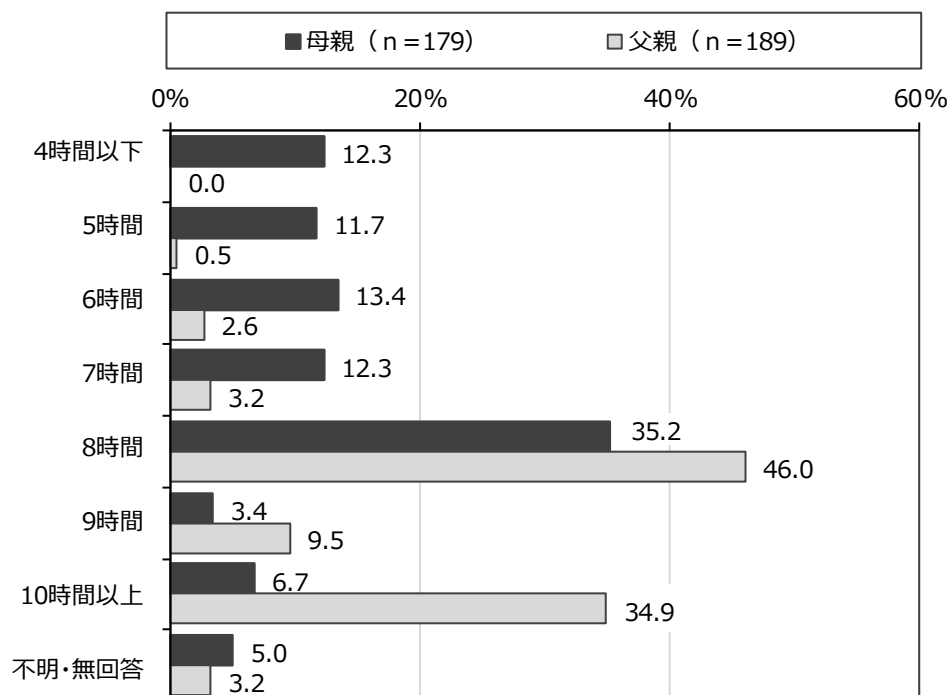
父親の就労日数をみると、「5日」が 64.6%と最も多く、次いで「6日」が 24.9%、「3日」と「7日」がともに 3.2%となっています。



■ 1日あたりの就労時間

母親の就労時間をみると、「8時間」が35.2%と最も多く、次いで「6時間」が13.4%、「4時間以下」と「7時間」がともに12.3%となっています。

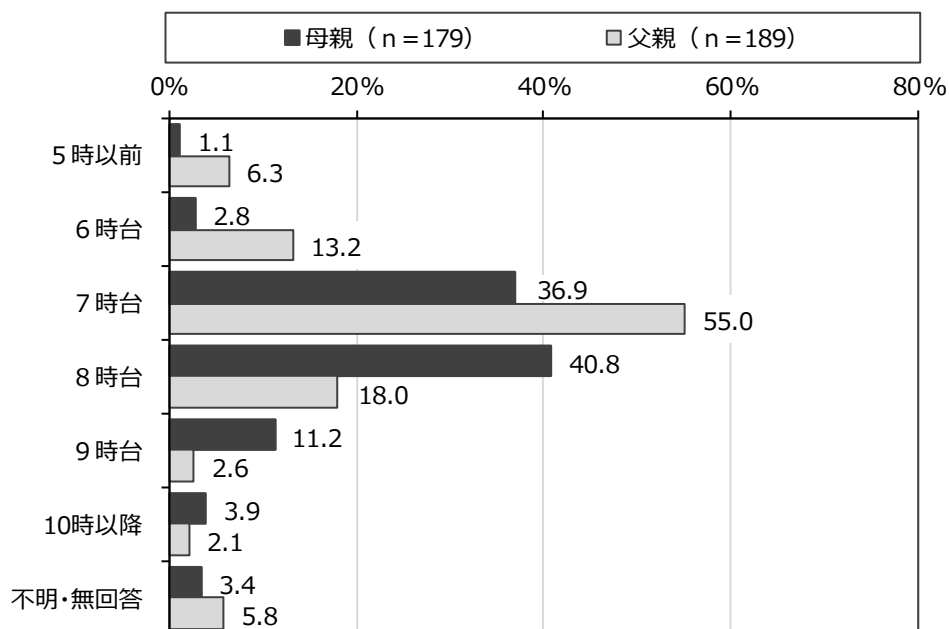
父親の就労時間をみると、「8時間」が46.0%と最も多く、次いで「10時間以上」が34.9%、「9時間」が9.5%となっています。



■ 出勤時刻

母親の出勤時刻をみると、「8時台」が40.8%と最も多く、次いで「7時台」が36.9%、「9時台」が11.2%となっています。

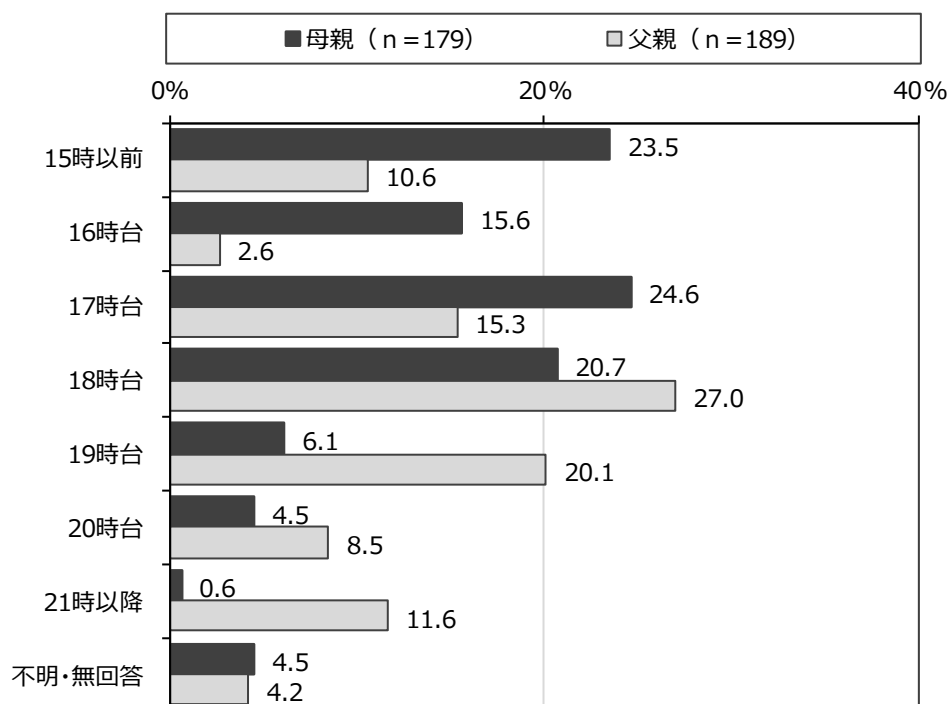
父親の出勤時刻をみると、「7時台」が55.0%と最も多く、次いで「8時台」が18.0%、「6時台」が13.2%となっています。



■ 帰宅時刻

母親の帰宅時刻をみると、「17 時台」が 24.6%と最も多く、次いで「15 時以前」が 23.5%、「18 時台」が 20.7%となっています。

父親の帰宅時刻をみると、「18 時台」が 27.0%と最も多く、次いで「19 時台」が 20.1%、「17 時台」が 15.3%となっています。

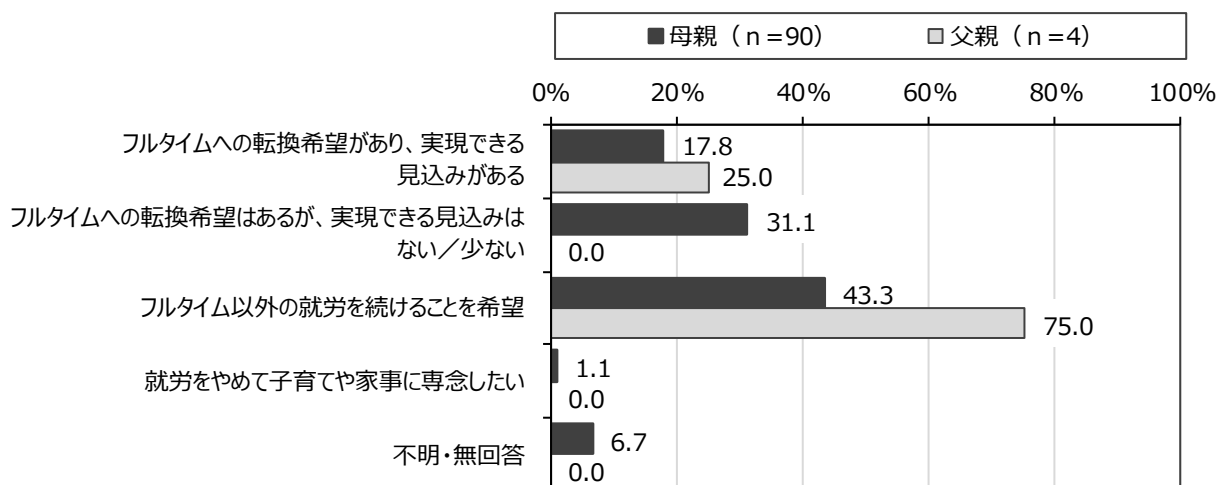


【問9で「フルタイム以外（パート・アルバイト等）で就労中」または「フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休暇中である」のいずれかに○を付けた方】

問 11 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度以上の就労）への転換希望はありますか。
（単数回答）

母親の転職希望をみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が43.3%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない／少ない」が31.1%となっています。

父親の転職希望をみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が75.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が25.0%となっています。



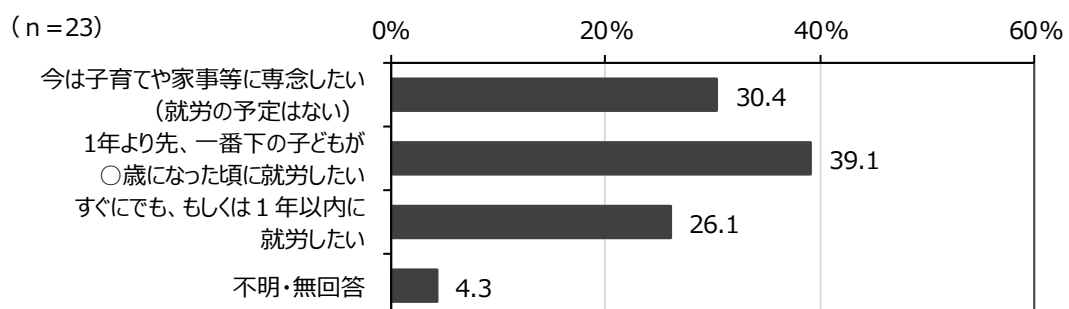
【問9で「現在は就労していない」に○を付けた方】

問 12 就労したいという希望はありますか。

■ 就労希望（単数回答）

母親の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが○歳になった頃に就労したい」が39.1%と最も多く、次いで「今は子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない）」が30.4%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が26.1%となっています。

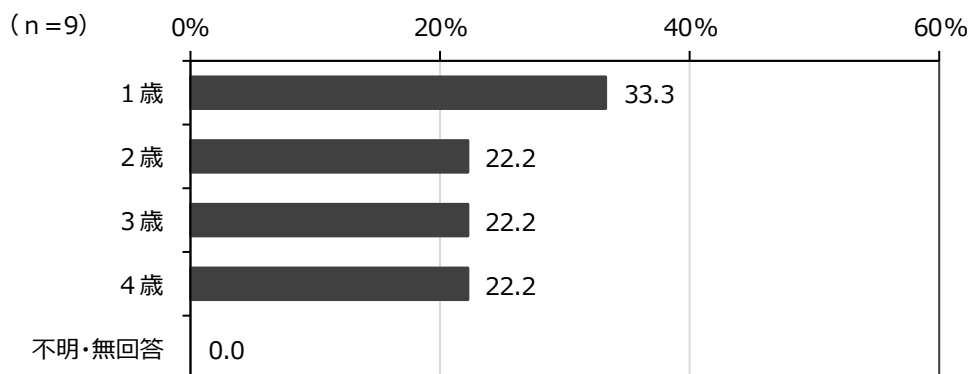
※父親の回答該当者は「0件」でした。



■ 就労時期(「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃に就労したい」を選んだ方／数量回答)

母親の希望する就労時期をみると、「1 歳」が 33.3%と最も多く、次いで「2 歳」と「3 歳」、「4 歳」がいずれも 22.2%となっています。

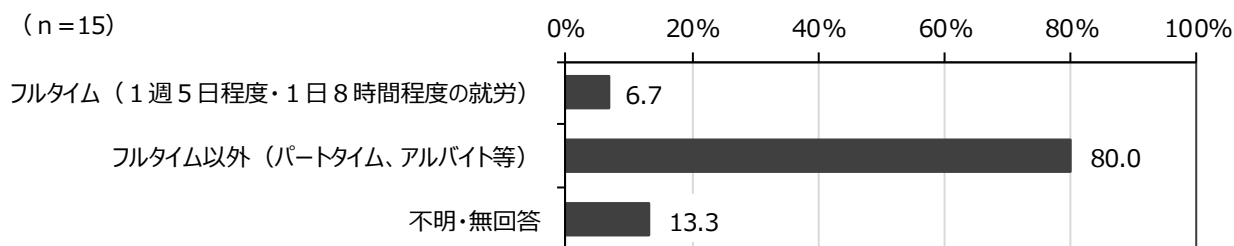
※父親の回答該当者は「0 件」でした。



■ 希望する就労形態(「就労したい」を選んだ方／数量回答)

母親の希望する就労形態をみると、「フルタイム以外（パートタイム、アルバイト等）」が 80.0%と最も多く、次いで「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）」が 6.7%となっています。

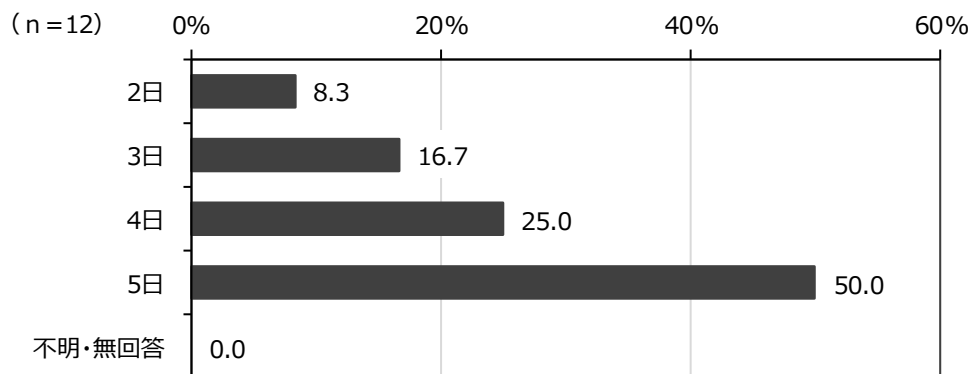
※父親の調査該当者は「0 件」でした。



■「フルタイム以外」での1週あたり就労希望日数(「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答)

母親の「フルタイム以外」での1週あたり就労希望日数をみると、「5日」が50.0%と最も多く、次いで「4日」が25.0%となっています。

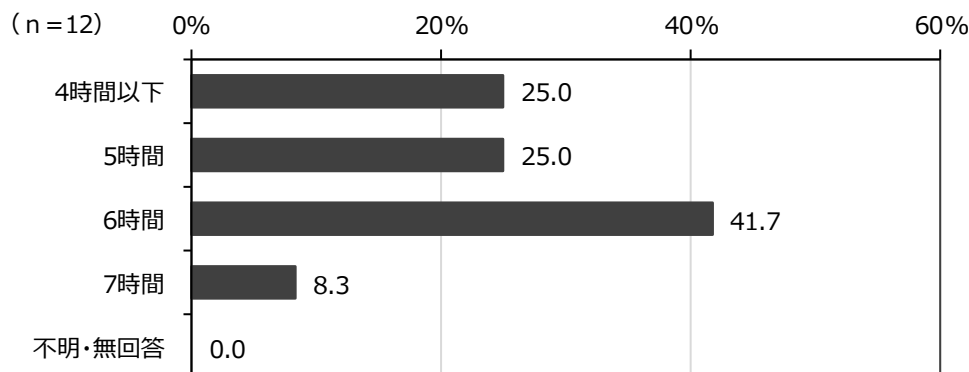
※父親の調査該当者は「0件」でした。



■「フルタイム以外」での1日あたり就労希望時間(「フルタイム以外」を選んだ方／数量回答)

母親の「フルタイム以外」での1日あたり就労希望時間をみると、「6時間」が41.7%と最も多く、次いで「4時間以下」と「5時間」がともに25.0%となっています。

※父親の調査該当者は「0件」でした。

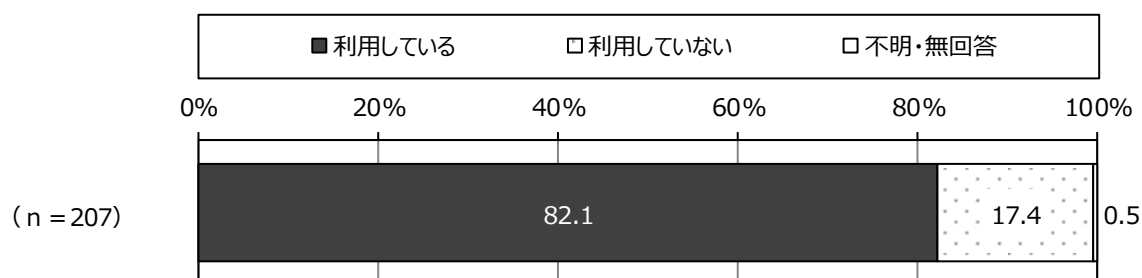


4 あて名のお子さんの「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用状況について

問 13 あて名のお子さんは現在、認定こども園や保育所等の「平日の定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（単数回答）

■ 利用の有無

「利用している」が82.1%、「利用していない」が17.4%となっています。



■ 子どもの年齢別・利用の有無

利用の有無を子どもの年齢別でみると、「利用している」では、「1 歳」以上がいずれも 60%以上となっており、特に「3 歳」から「5 歳」では 95%以上となっています。

単位: %

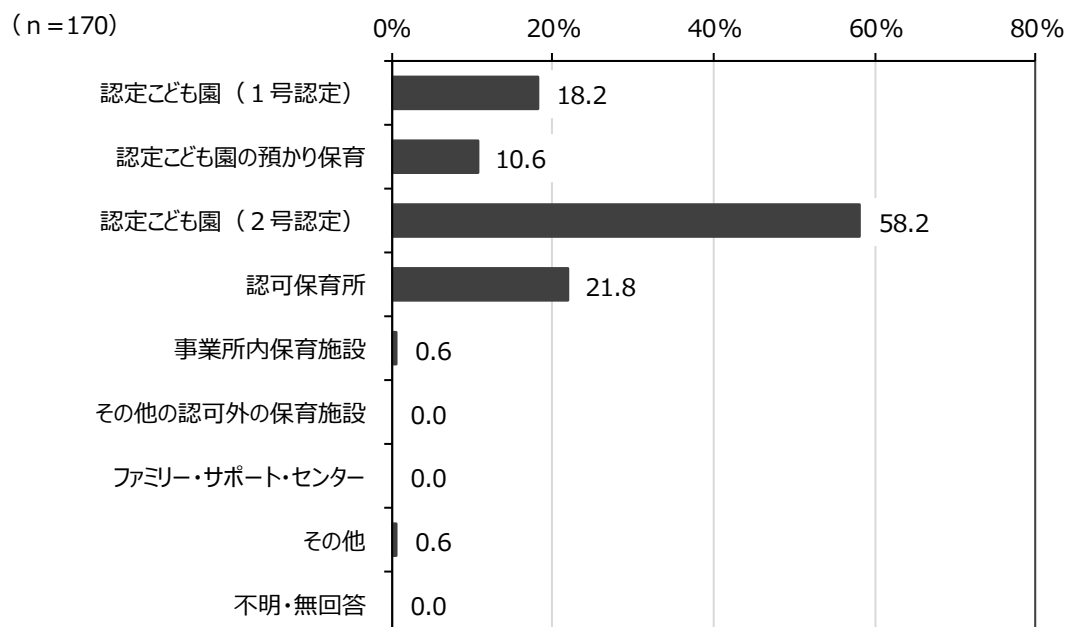
	n	利用している	利用していない	不明・無回答
全体	207	82.1	17.4	0.5
0 歳	22	31.8	68.2	0.0
1 歳	22	63.6	36.4	0.0
2 歳	29	69.0	31.0	0.0
3 歳	40	100.0	0.0	0.0
4 歳	47	97.9	0.0	2.1
5 歳	40	97.5	2.5	0.0
6 歳	3	66.7	33.3	0.0
不明・無回答	4	50.0	50.0	0.0

※グレー部分は、最多項目

【問 13 で「利用している」に○を付けた方】

問 14 あて名のお子さんは現在、平日どのような「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（複数回答）

「認定こども園（2号認定）」が58.2%と最も多く、次いで「認可保育所」が21.8%、「認定こども園（1号認定）」が18.2%となっています。

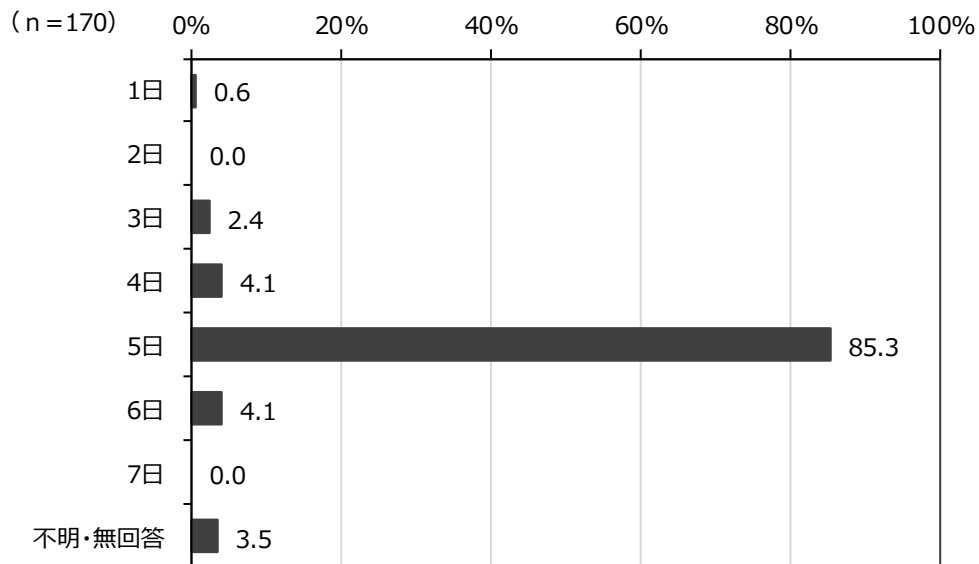


【問 13 で「利用している」に○を付けた方】

問 15 問 14 で答えた事業はどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。「現在」と「希望」それぞれについて、1 週あたり何日、1 日あたり何時間（何時から何時まで）かを数字でご記入ください。

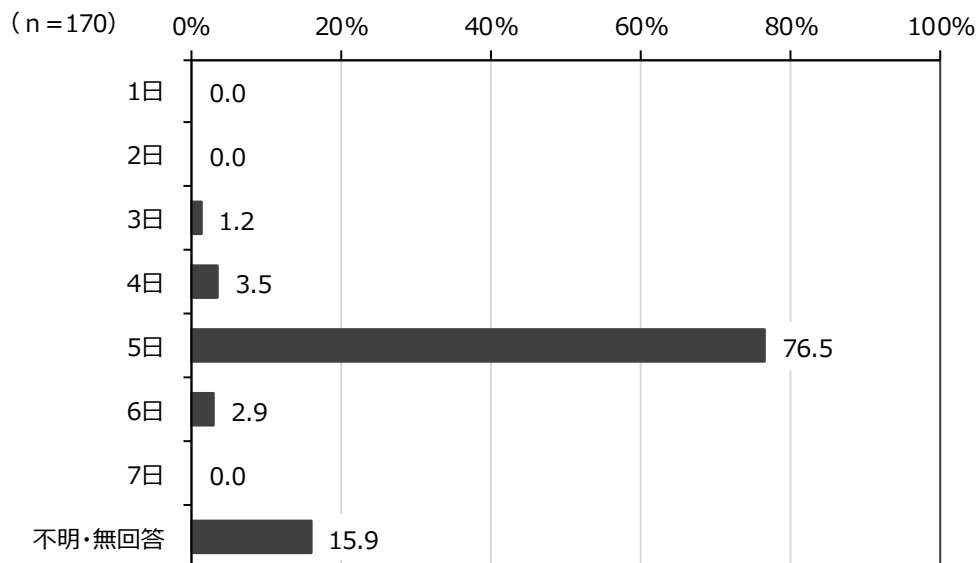
■現在の 1 週あたりの利用日数（数量回答）

「5 日」が 85.3%と最も多く、次いで「4 日」と「6 日」がともに 4.1%となっています。



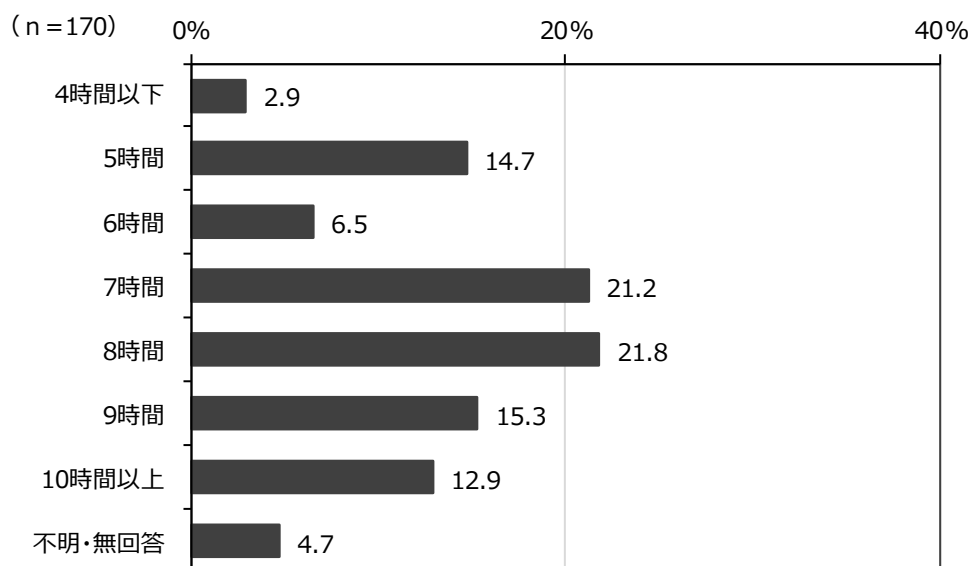
■希望の 1 週あたりの利用日数（数量回答）

「5 日」が 76.5%と最も多く、次いで「4 日」が 3.5%となっています。



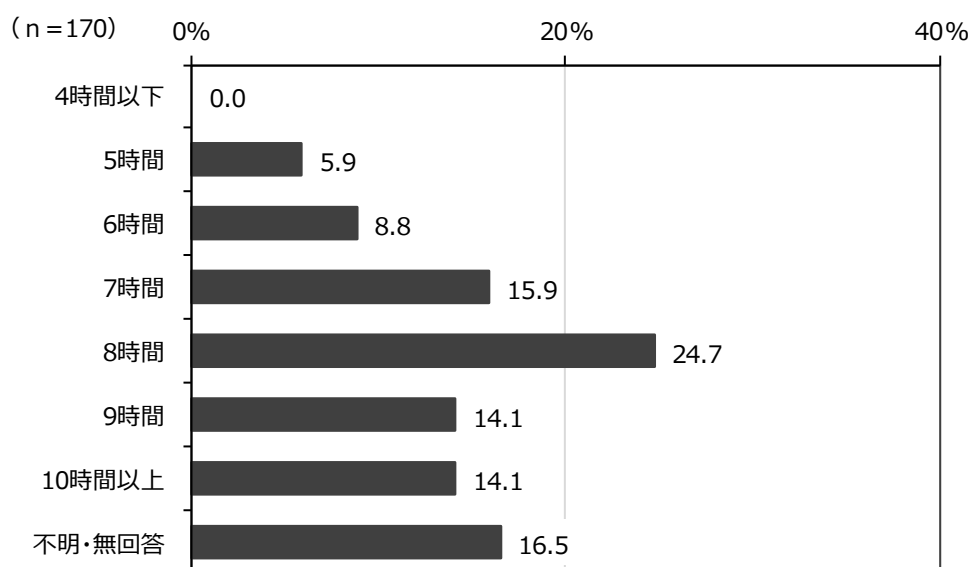
■現在の1日あたりの利用時間（数量回答）

「8時間」が21.8%と最も多く、次いで「7時間」が21.2%、「9時間」が15.3%となっています。



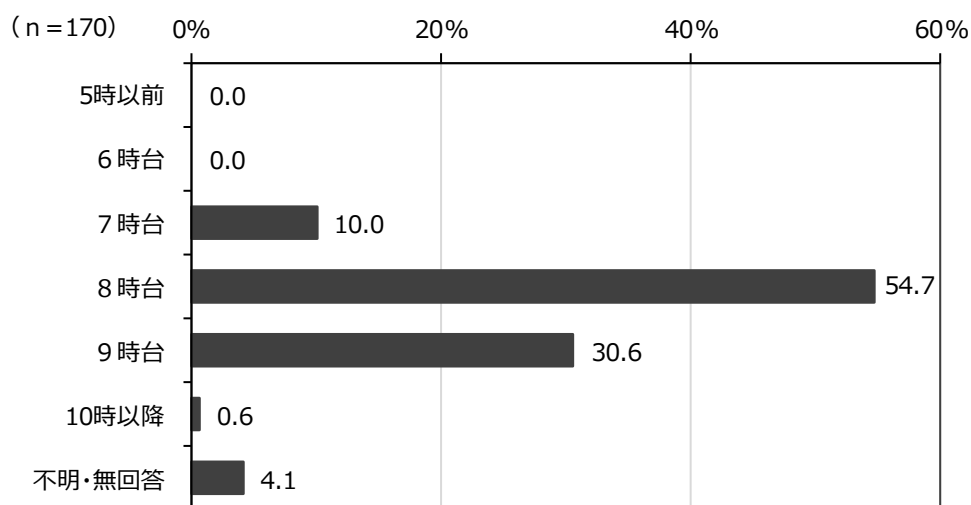
■希望の1日あたりの利用時間（数量回答）

「8時間」が24.7%と最も多く、次いで「7時間」が15.9%、「9時間」と「10時間以上」がともに14.1%となっています。



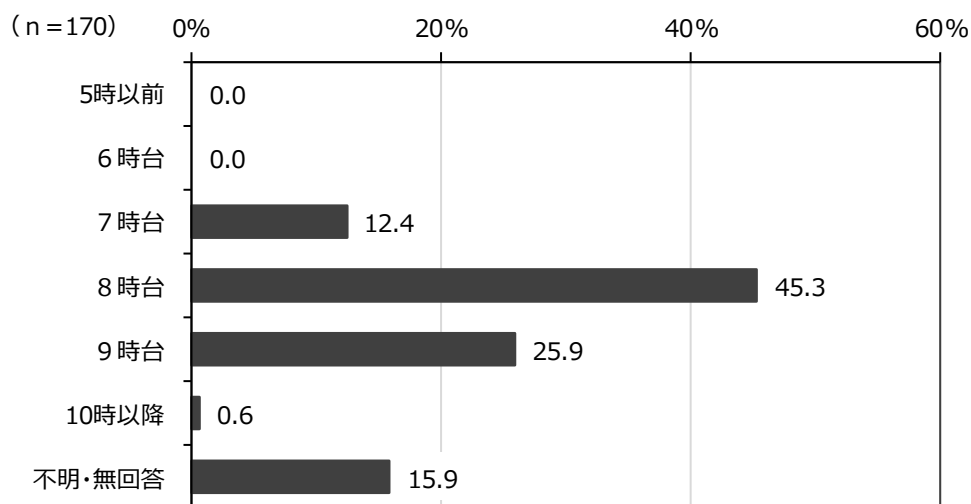
■ 現在の利用開始時刻（数量回答）

「8時台」が54.7%と最も多く、次いで「9時台」が30.6%、「7時台」が10.0%となっています。



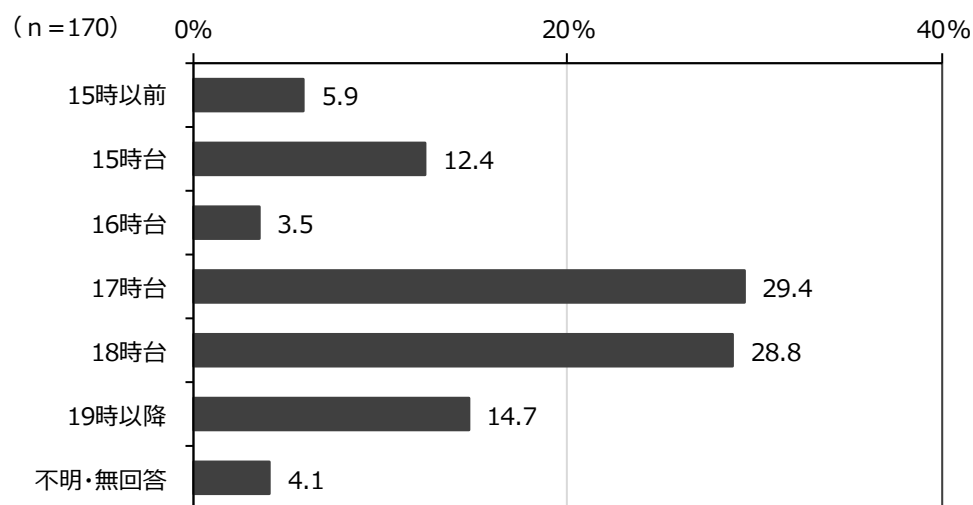
■ 希望の利用開始時刻（数量回答）

「8時台」が45.3%と最も多く、次いで「9時台」が25.9%、「7時台」が12.4%となっています。



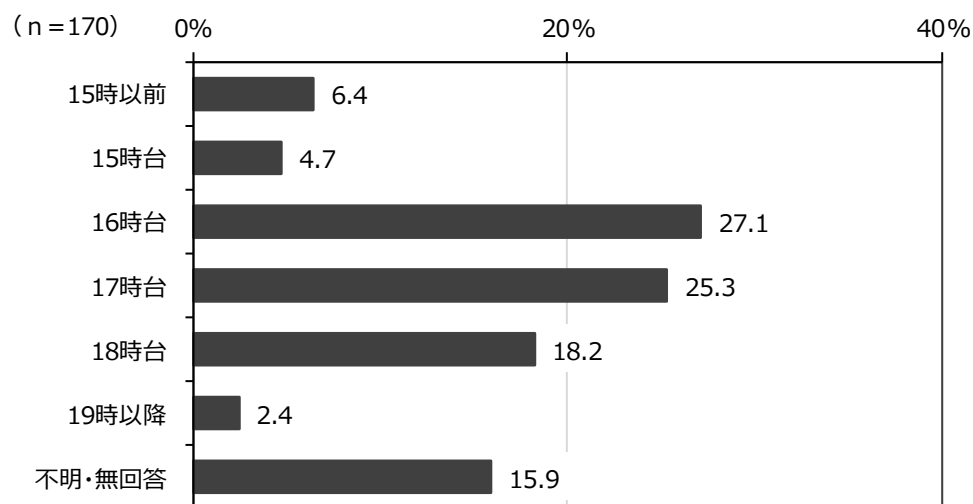
■ 現在の利用終了時刻（数量回答）

「17 時台」が 29.4%と最も多く、次いで「18 時台」が 28.8%、「19 時以降」が 14.7%となっています。



■ 希望の利用終了時刻（数量回答）

「16 時台」が 27.1%と最も多く、次いで「17 時台」が 25.3%、「18 時台」が 18.2%となっています。

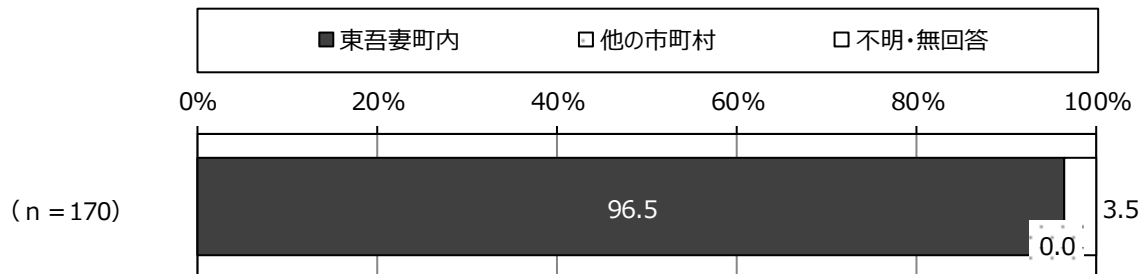


【問 13 で「利用している」に○を付けた方】

問 16 現在、利用している「平日の教育・保育の事業」の実施場所はどちらですか。

(単数回答)

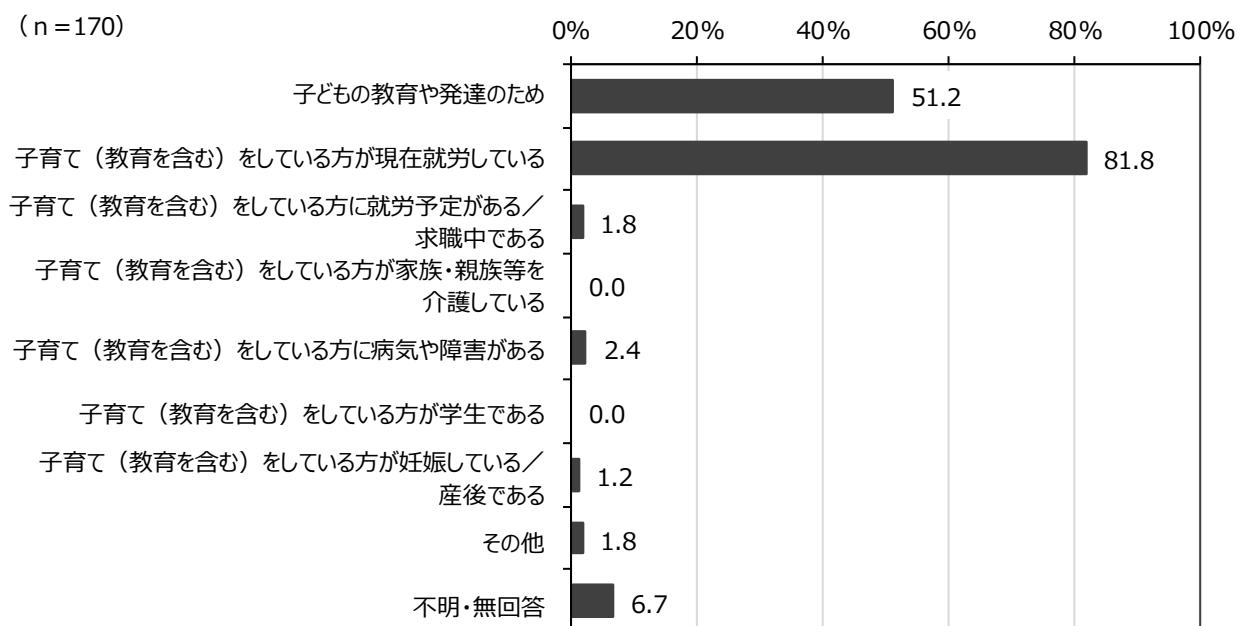
「東吾妻町内」が 96.5%、「他の市町村」が 0.0%となっています。



【問 13 で「利用している」に○を付けた方】

問 17 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(複数回答)

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 81.8%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 51.2%となっています。

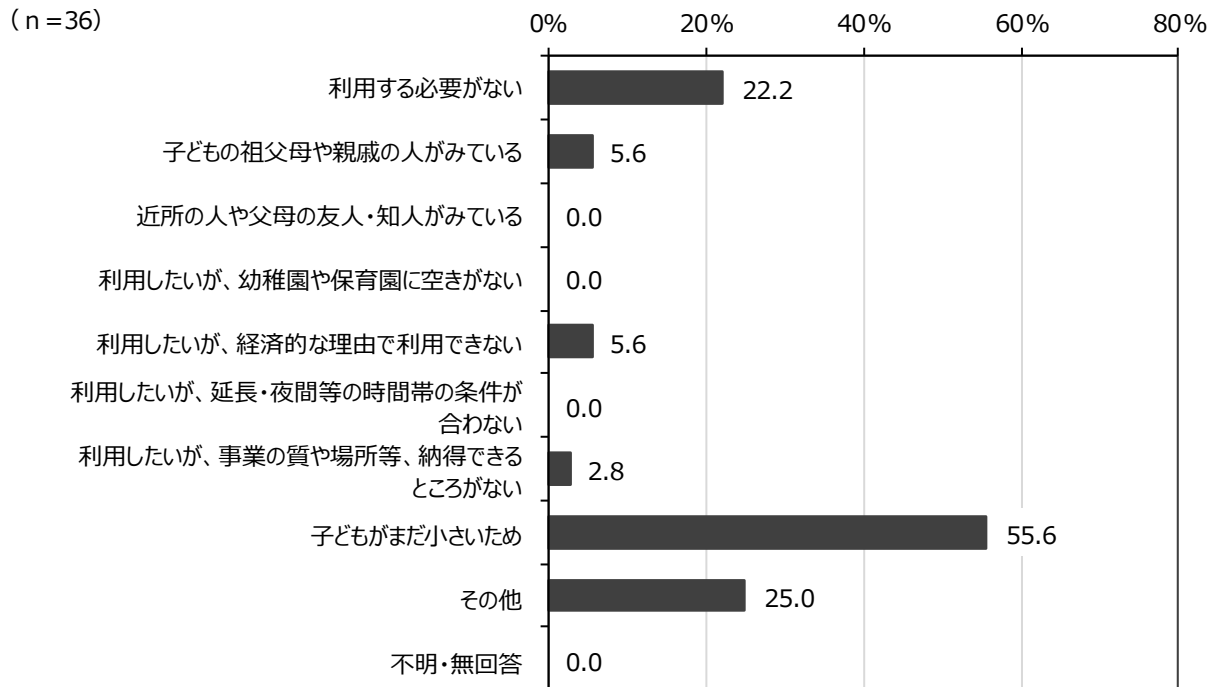


【問 13 で「利用していない」に○を付けた方】

問 18 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。（単数回答）

「子どもがまだ小さいため」が 55.6%と最も多く、次いで「その他」が 25.0%、「利用する必要がない」が 22.2%となっています。

また「その他」では、「利用したいが、育休中は利用できない」や「利用したいが、就労していないと利用できないという制度だから」という声が挙がっています。

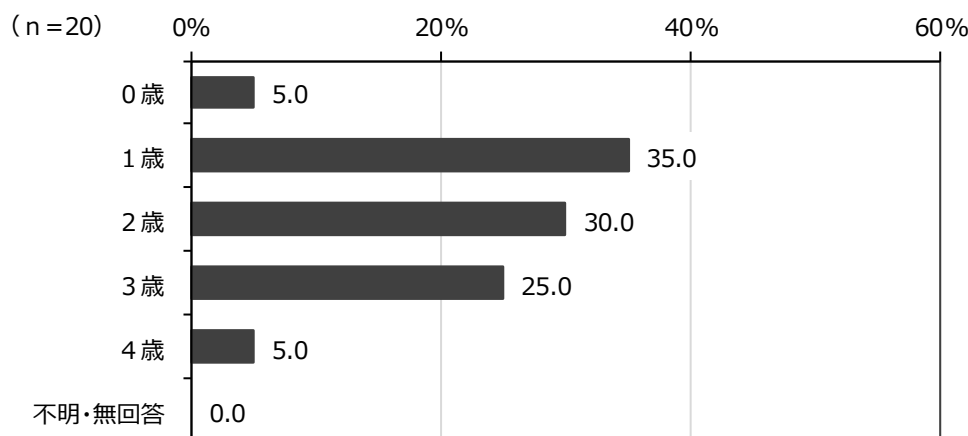


【「その他」の理由】

- 利用したいが、育休中は利用できない（要件に合わない）為。（4件）
- 利用したいが、就労していないと利用できないという制度だから。（3件）
- 預けたいが、生後 1 年未満の子がいるので入れないと言われている。
- 下の子がまだ産まれたばかりで家でみている為入園させられない。保育料が高い。

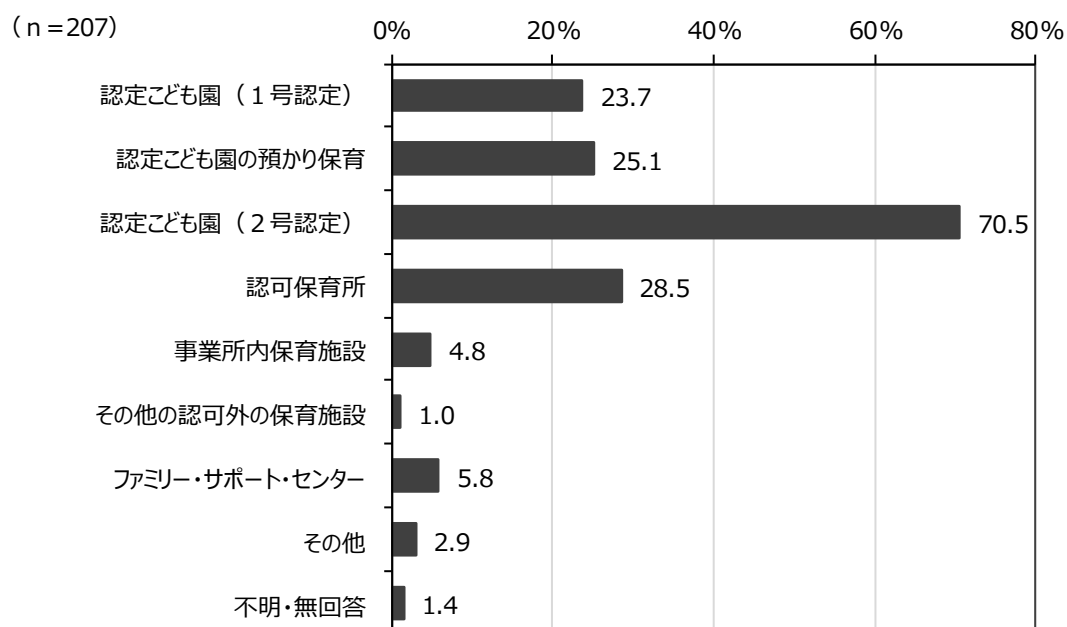
■「定期的な教育・保育の事業」を利用しようと思っている子どもの年齢
 （「子どもがまだ小さいため」を選んだ方／数量回答）

「1歳」が35.0%と最も多く、次いで「2歳」が30.0%、「3歳」が25.0%となっています。



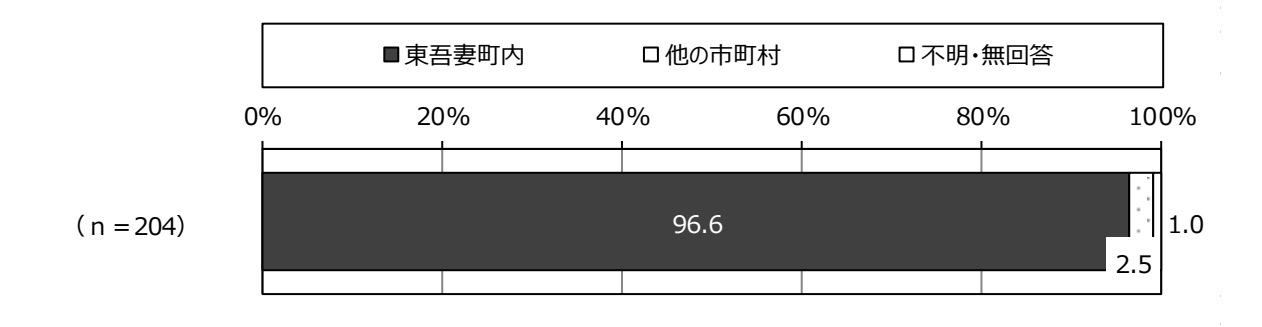
問 19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（複数回答）

「認定こども園（2号認定）」が70.5%と最も多く、次いで「認可保育所」が28.5%、「認定こども園の預かり保育」が25.1%、「認定こども園（1号認定）」が23.7%となっています。



問 20 問 19 で答えた「平日の教育・保育の事業」を利用したい場所はどちらですか。
(単数回答)

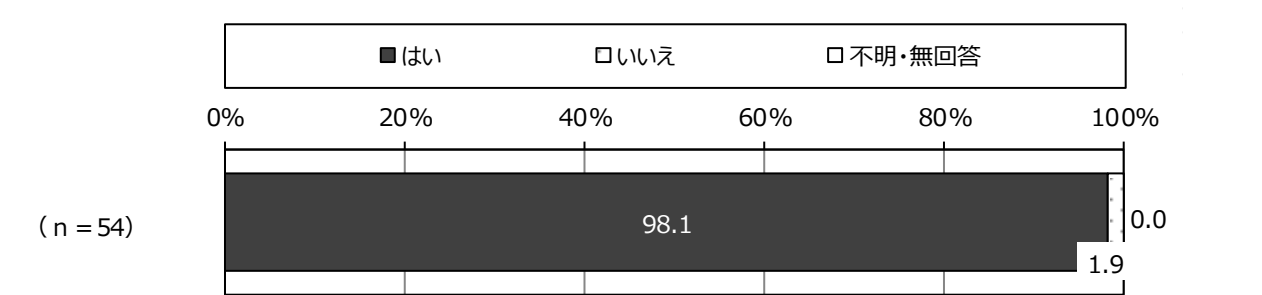
「東吾妻町内」が 96.6%、「他の市町村」が 2.5%となっています。



【問 19 で「認定こども園（1 号認定）」または「認定こども園の預かり保育」に○を付け、かつそれ以外にも○を付けた方】

問 21 特に認定こども園（認定こども園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（単数回答）

「はい」が 98.1%、「いいえ」が 1.9%となっています。

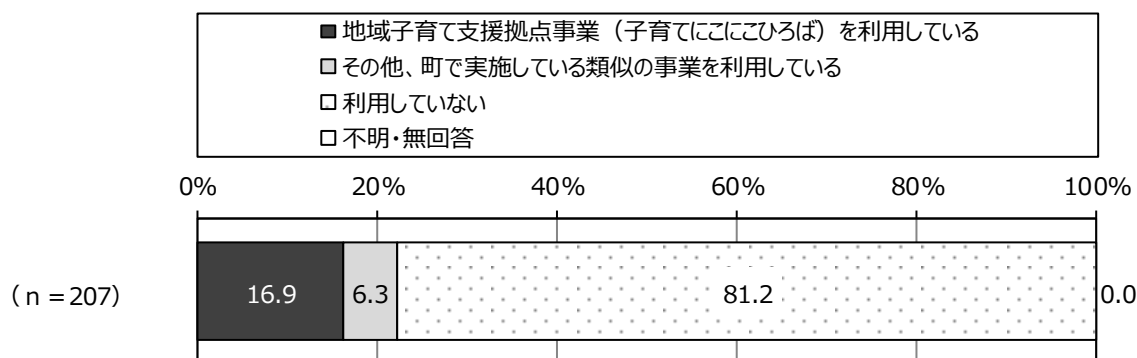


5 あて名のお子さんの地域子育て支援拠点事業の利用状況について

問 22 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

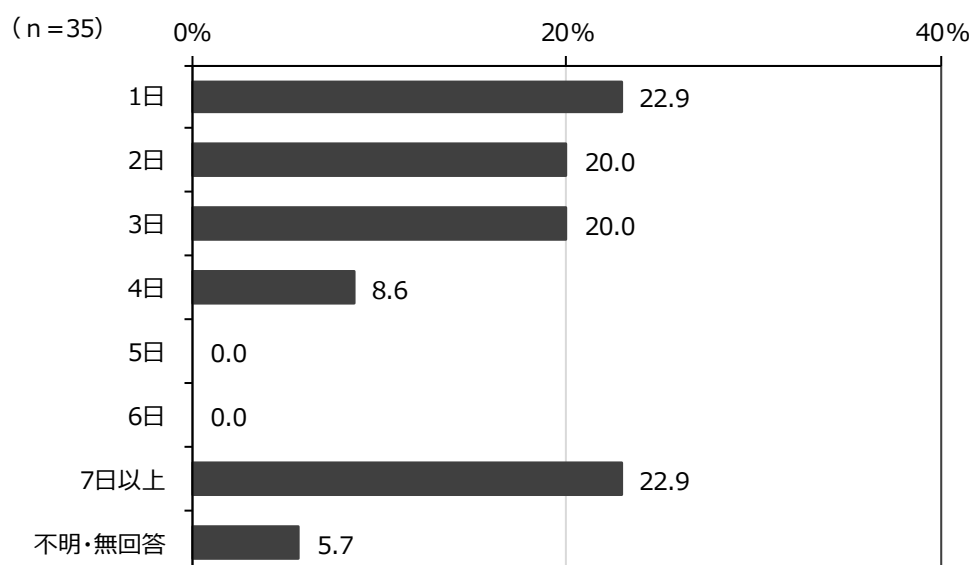
■現在の利用状況（単数回答）

「利用していない」が 81.2%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業（子育てにここにひろば）を利用している」が 16.9%、「その他、町で実施している類似の事業を利用している」が 6.3%となっています。



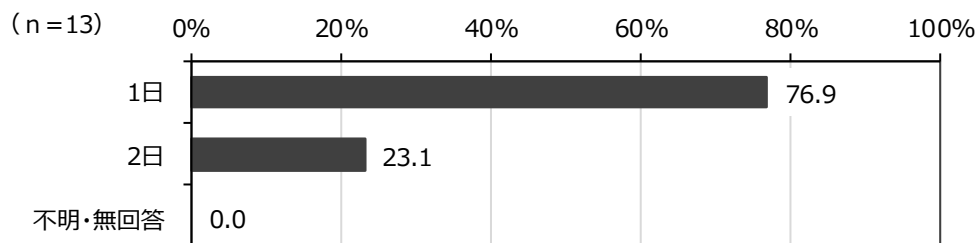
■地域子育て支援拠点事業（子育てにここにひろば）の1ヶ月あたり利用日数（「地域子育て支援拠点事業（子育てにここにひろば）を利用している」を選んだ方／数量回答）

「1日」と「7日以上」がともに 22.9%と最も多く、次いで「2日」と「3日」がともに 20.0%となっています。



■町で実施している類似の事業の1ヶ月あたり利用日数（「その他、町で実施している類似の事業を利用している」を選んだ方／数量回答）

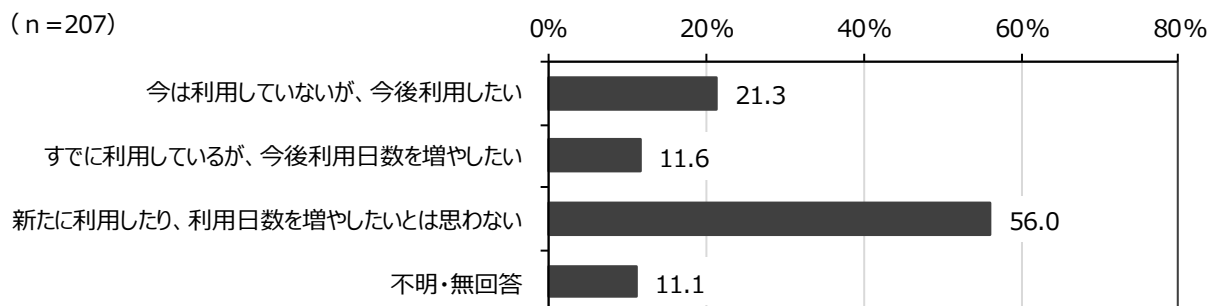
「1日」が76.9%と最も多く、次いで「2日」が23.1%となっています。



問 23 問 22 の地域子育て支援拠点事業の場について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、今後利用日数を増やしたいと思いますか。

■今後の利用意向（単数回答）

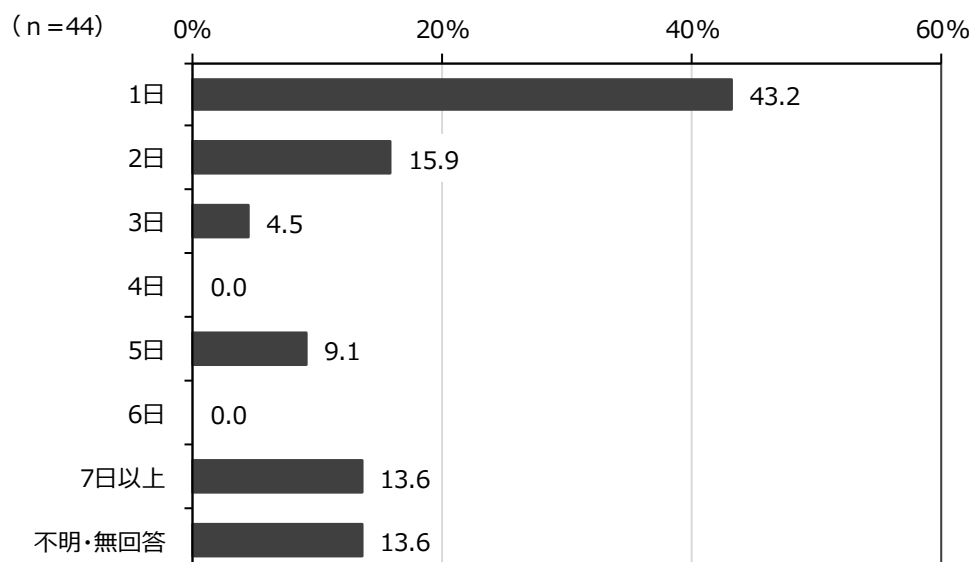
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が56.0%と最も多くなっています。一方、「今は利用していないが、今後利用したい」が21.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が11.6%となっています。



■新規利用の方の1ヶ月あたり利用希望日数

(「今は利用していないが、今後利用したい」を選んだ方／数量回答)

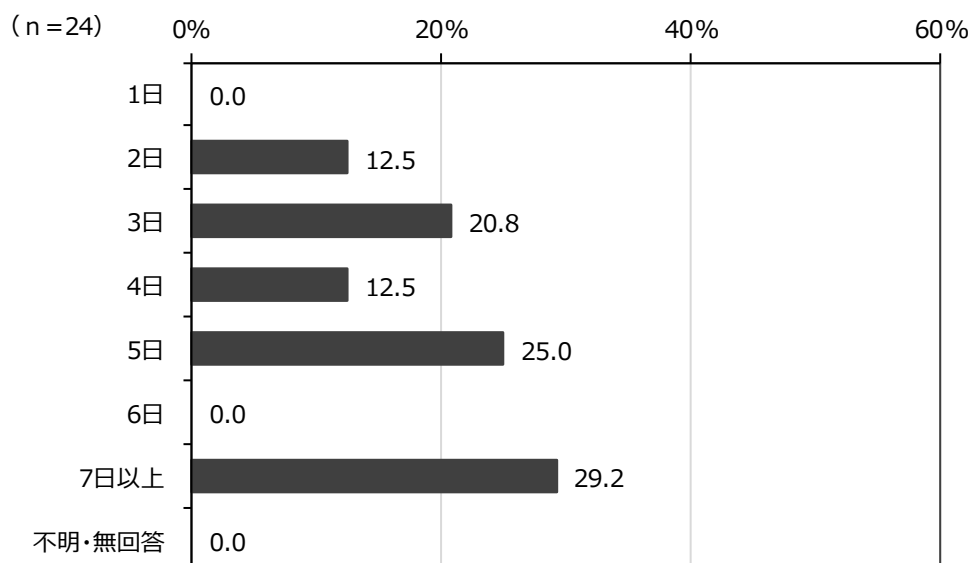
「1日」が43.2%と最も多く、次いで「2日」が15.9%、「7日以上」が13.6%となっています。



■利用日数を増やしたい方の1ヶ月あたり利用希望日数

(「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方／数量回答)

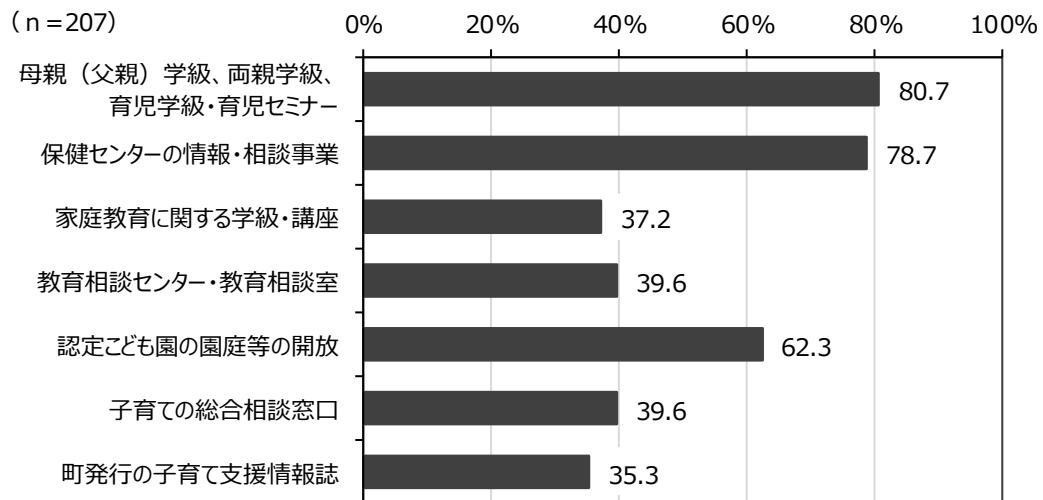
「7日以上」が29.2%と最も多く、次いで「5日」が25.0%、「3日」が20.8%となっています。



問 24 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものそれぞれについて、お答えください。

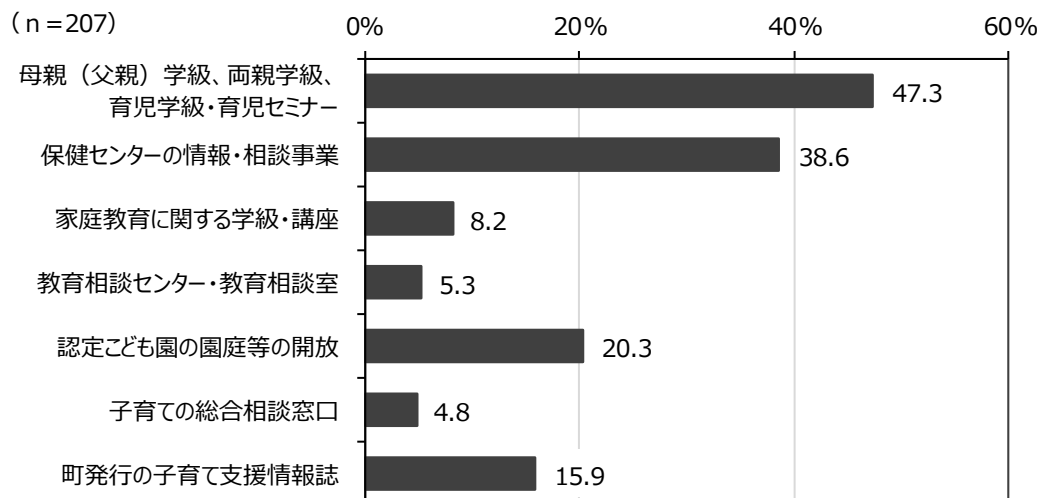
■ 認知状況（単数回答）

“知っている”に「はい」と回答された人をみると、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級・育児セミナー」が80.7%と最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が78.7%、「認定こども園の園庭等の開放」が62.3%となっています。一方、認知が低い事業では、「町発行の子育て支援情報誌」が35.3%、「家庭教育に関する学級・講座」が37.2%となっています。



■ 現在の利用状況（単数回答）

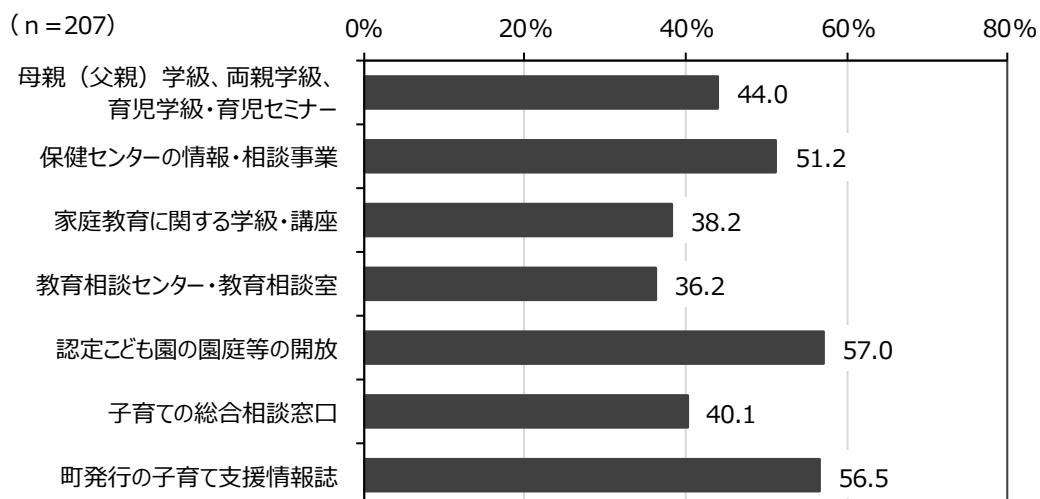
“これまでに利用したことがある”に「はい」と回答された人をみると、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級・育児セミナー」が47.3%と最も多く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が38.6%、「認定こども園の園庭等の開放」が20.3%となっています。一方、利用が少ない事業では、「子育ての総合相談窓口」が4.8%、「教育相談センター・教育相談室」が5.3%となっています。



■ 今後の利用意向（単数回答）

“今後利用したい”に「はい」と回答された人をみると、「認定こども園の園庭等の開放」が57.0%と最も多く、次いで「町発行の子育て支援情報誌」が56.5%、「保健センターの情報・相談事業」が51.2%となっています。

一方、今後の利用意向が少ない事業では、「教育相談センター・教育相談室」が36.2%、「家庭教育に関する学級・講座」が38.2%となっています。



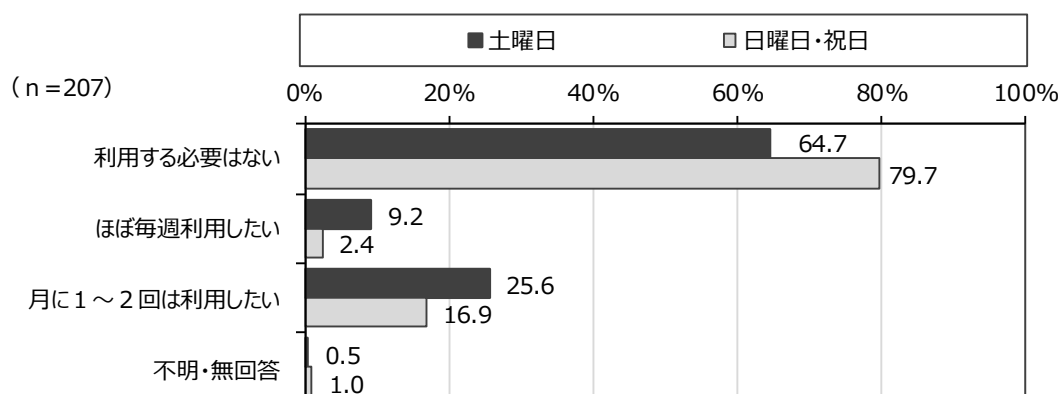
6 あて名のお子さんの「土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業」の今後の利用希望について

問 25 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

■ 土曜日と日曜日・祝日の利用希望（単数回答）

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が64.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.6%、「ほぼ毎週利用したい」が9.2%となっています。

日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が79.7%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が2.4%となっています。

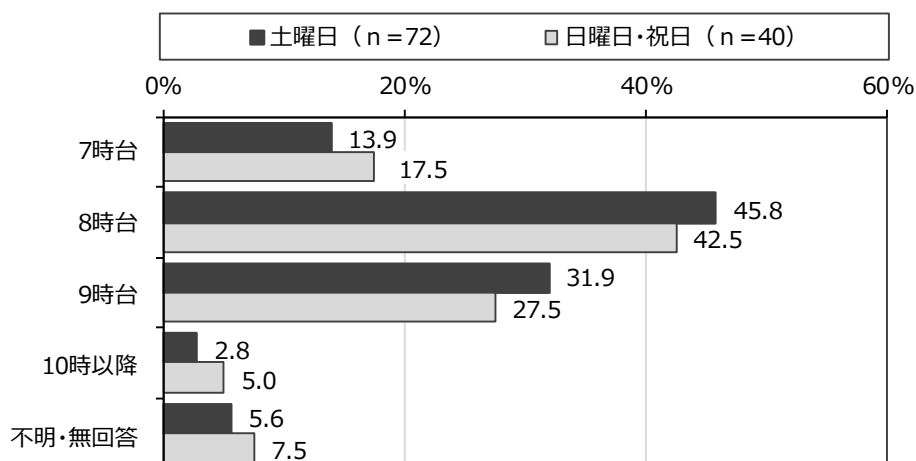


■ 土曜日と日曜日・祝日の希望開始時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の希望開始時刻をみると、「8時台」が45.8%と最も多く、次いで「9時台」が31.9%となっています。

日曜日・祝日の希望開始時刻をみると、「8時台」が42.5%と最も多く、次いで「9時台」が27.5%となっています。

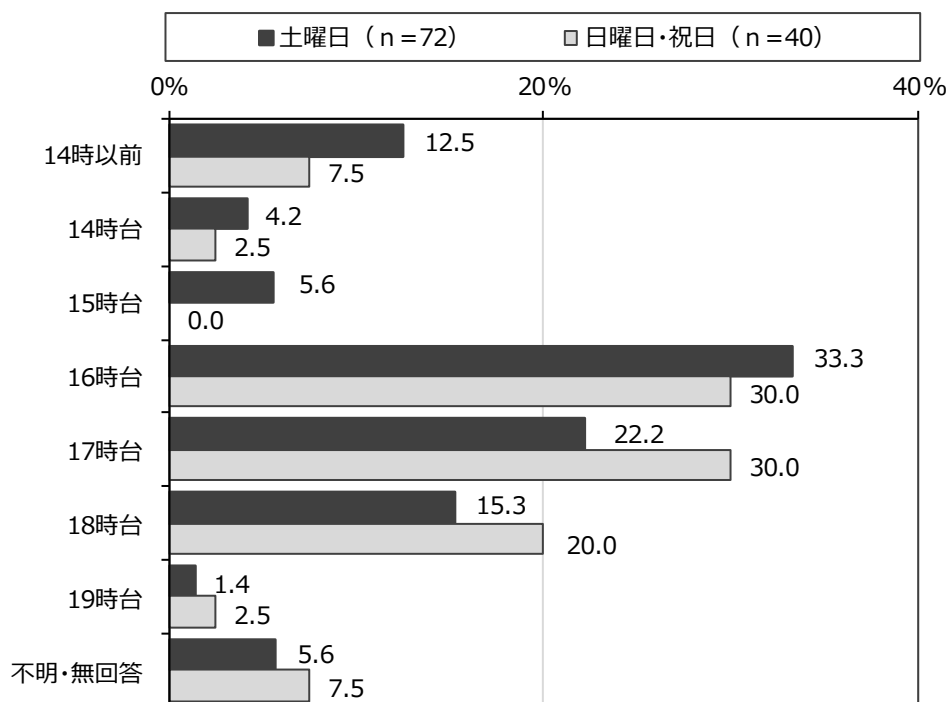


■ 土曜日と日曜日・祝日の希望終了時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の希望終了時刻をみると、「16 時台」が 33.3%と最も多く、次いで「17 時台」が 22.2%、「18 時台」が 15.3%となっています。

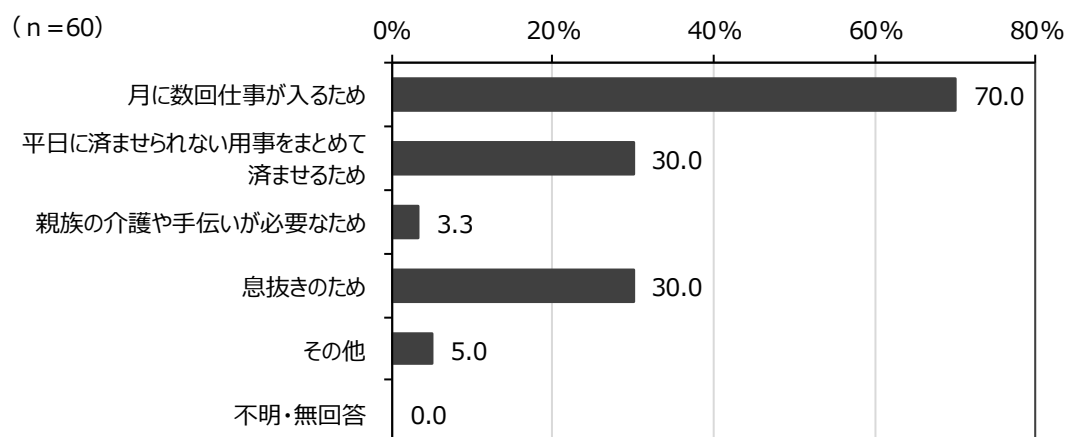
日曜日・祝日の希望終了時刻をみると、「16 時台」と「17 時台」がともに 30.0%と最も多く、次いで「18 時台」が 20.0%となっています。



【問 25 の土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回は利用したい」に○を付けた方】

問 26 毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。（複数回答）

「月に数回仕事が入るため」が 70.0%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」と「息抜きのため」がともに 30.0%となっています。

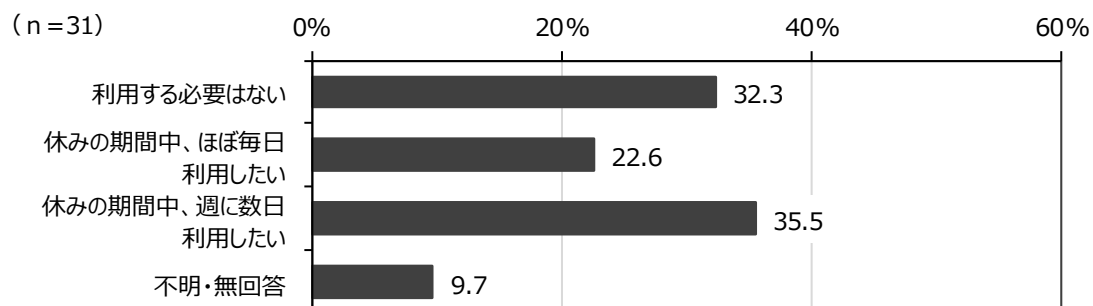


【「認定こども園（1号認定）」を利用されている方】

問 27 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の今後の利用希望はありますか。

■ 今後の利用意向（単数回答）

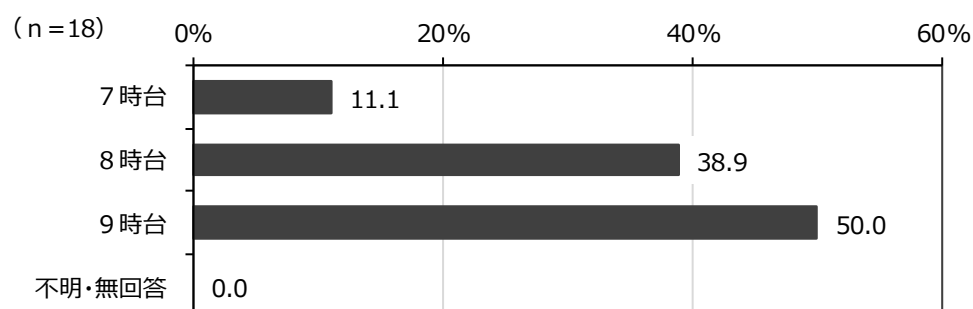
「休みの期間中、週に数日利用したい」が 35.5%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が 32.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 22.6%となっています。



■ 休暇期間中・利用希望の開始時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答）

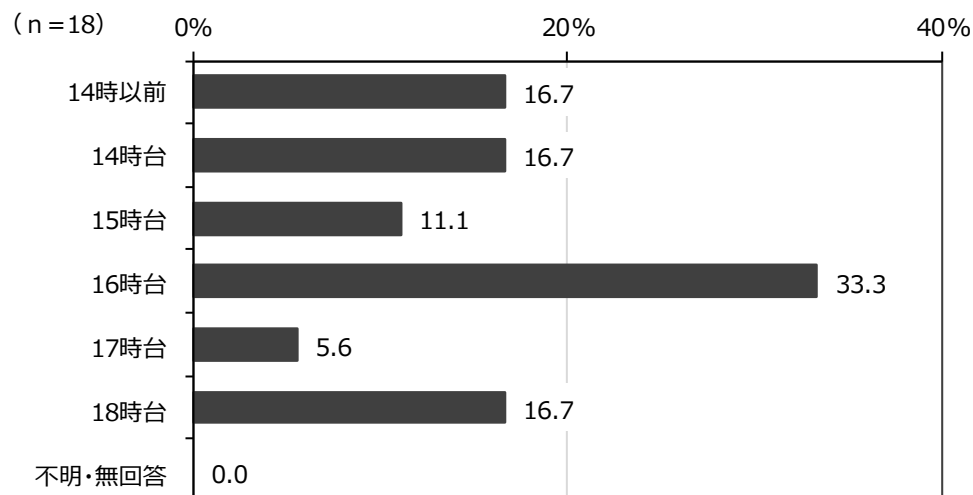
「9時台」が 50.0%と最も多く、次いで「8時台」が 38.9%となっています。



■ 休暇期間中・利用希望の終了時刻

（「ほぼ毎週利用したい」「週に数日利用したい」を選んだ方／数量回答）

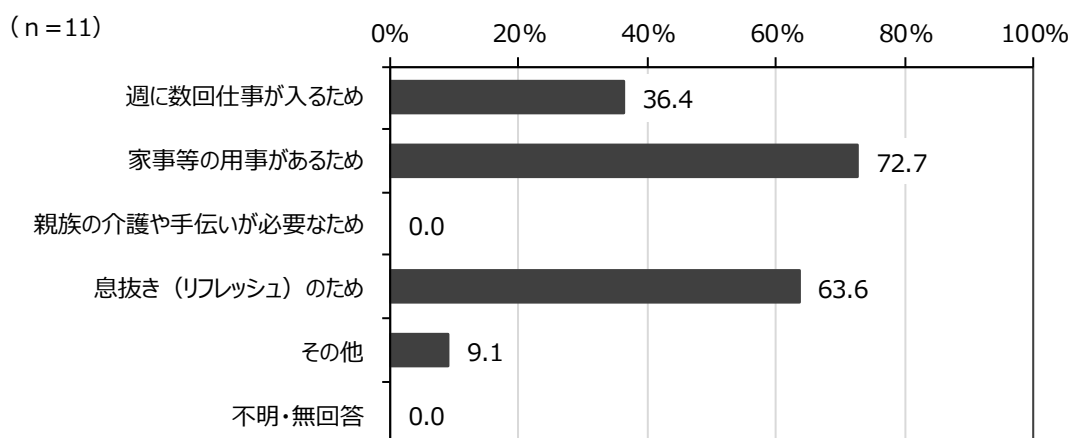
「16 時台」が 33.3%と最も多く、次いで「14 時以前」と「14 時台」、「18 時台」がいずれも 16.7%となっています。



【問 27 で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○を付けた方】

問 28 毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。（複数回答）

「家事等の用事があるため」が 72.7%と最も多く、次いで「息抜き（リフレッシュ）のため」が 63.6%となっています。

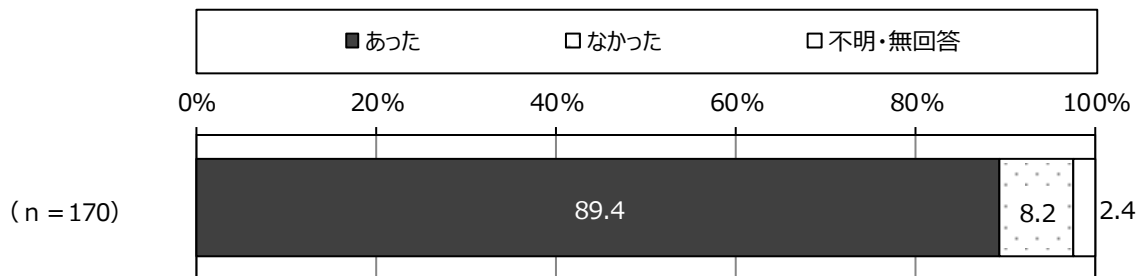


7 あて名のお子さんの病気の際の対応について

【問 13 で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」に○を付けた方】

問 29 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、認定こども園・保育所等を休んだことがありますか。(単数回答)

「あった」が 89.4%、「なかった」が 8.2%となっています。

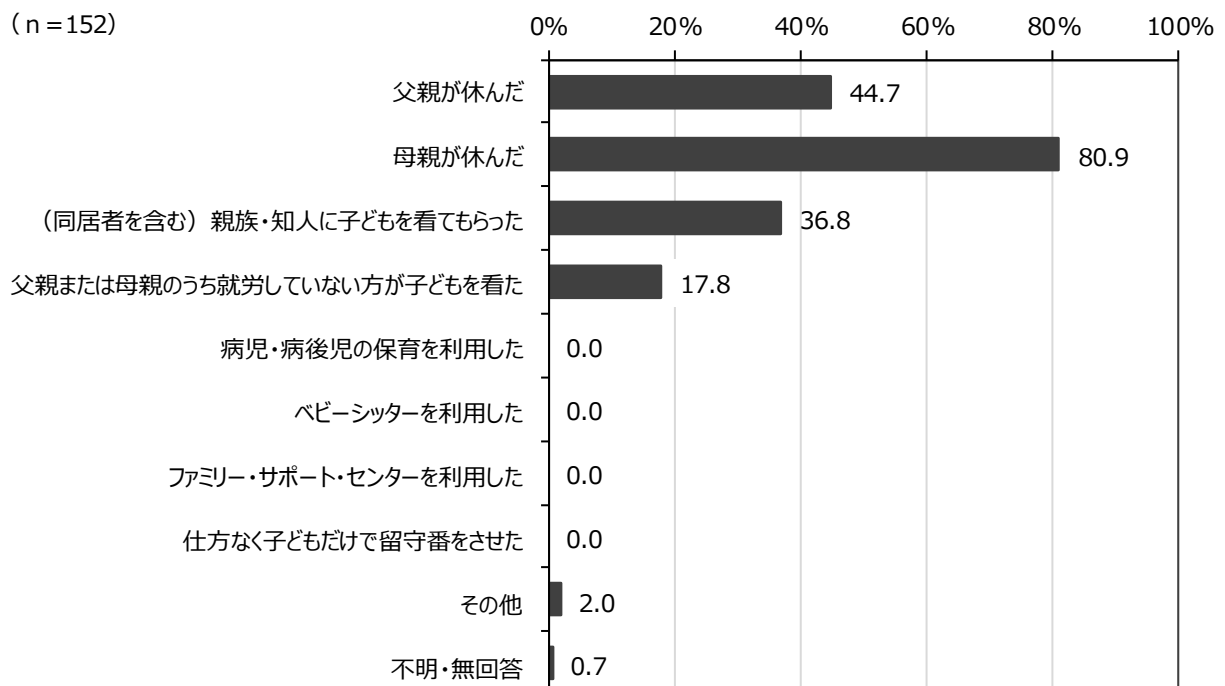


【問 29 で「あった」に○を付けた方】

問 30 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○を付け、それぞれの利用日数を数字でご記入ください。

■ 1 年間に行った対処方法 (複数回答)

「母親が休んだ」が 80.9%と最も多く、次いで、「父親が休んだ」が 44.7%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」が 36.8%となっています。



■子どもが病気やケガの際の対処日数（数量回答）

「父親が休んだ」では「5日未満」（51.5％）が、「母親が休んだ」と「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」ではともに「10～19日」（母親が休んだ 30.1％／就労していない方が見た 29.6％）が、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」では「5～9日」（32.1％）が最も多くなっています。

単位: %

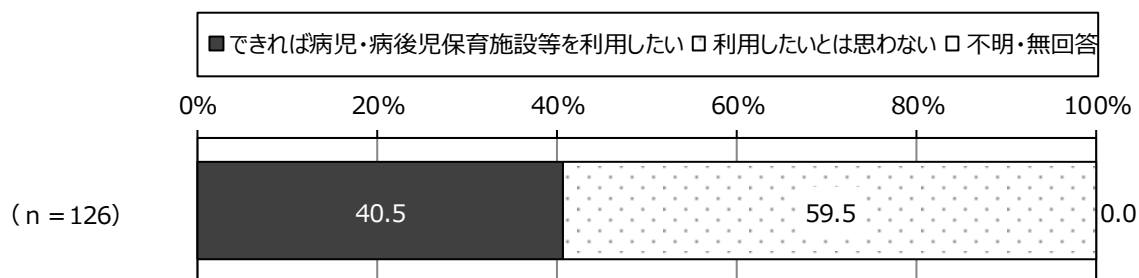
	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
父親が休んだ	68	51.5	26.5	10.3	1.5	0.0	10.3
母親が休んだ	123	24.4	15.4	30.1	10.6	4.9	14.6
（同居者を含む） 親族・知人に子どもを看てもらった	56	25.0	32.1	21.4	7.1	1.8	12.5
父親または母親のうち就労していない 方が子どもを見た	27	25.9	22.2	29.6	14.8	3.7	3.7
その他	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3

※グレー部分は、最多項目

【問 30 で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」のいずれかに○を付けた方】

問 31 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。 （単数回答）

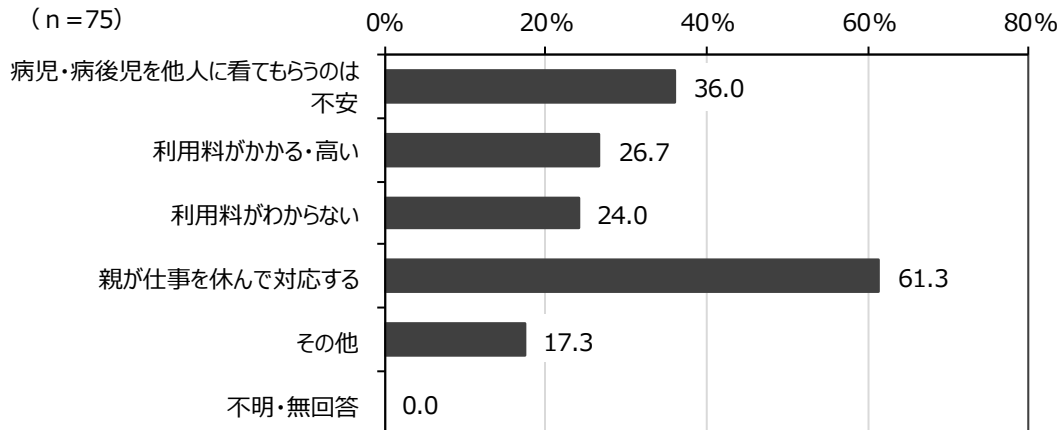
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 40.5%、「利用したいとは思わない」が 59.5% となっています。



【問 31 で「利用したいとは思わない」に○を付けた方】

問 32 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

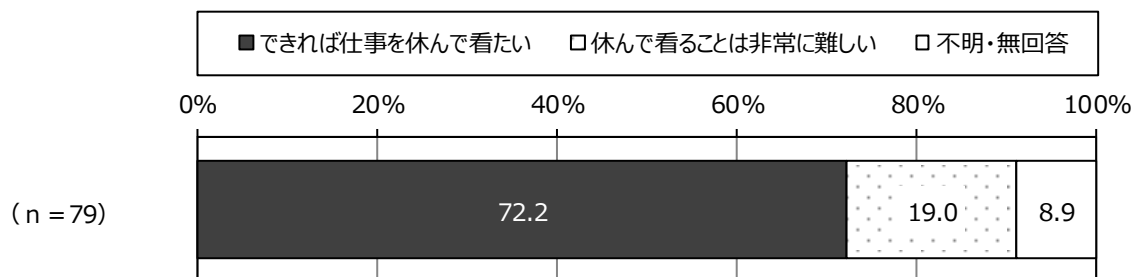
「親が仕事を休んで対応する」が 61.3%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 36.0%、「利用料がかかる・高い」が 26.7%となっています。



【問 30 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外に○を付けた方】

問 33 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(単数回答)

「できれば仕事を休んで看たい」が 72.2%、「休んで看ることは非常に難しい」が 19.0%となっています。

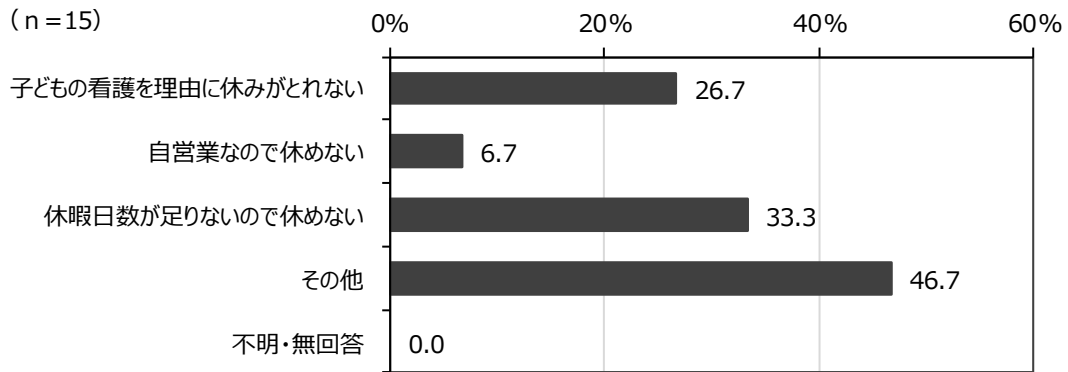


【問 33 で「休んで看することは非常に難しい」に○を付けた方】

問 34 そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

「その他」が 46.7%と最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が 33.3%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 26.7%となっています。

また「その他」の理由では、「人手不足のため休みを取りにくい。休むと収入が減ってしまう」や「業務内容的に休暇が困難な場合がある」という声が挙がっています。



【「その他」の理由】

○人手不足のため休みを取りにくい。休むと収入が減ってしまう。(2件)

○業務内容的に休暇が困難な場合がある。

○仕事でどうしても休めない予定の日があるから。

○時期によって休めない事がある。

○従業員の数が足りないので休みづらい。休むと経営者か主任クラスから嫌味を言われ、ストレスを感じる為。

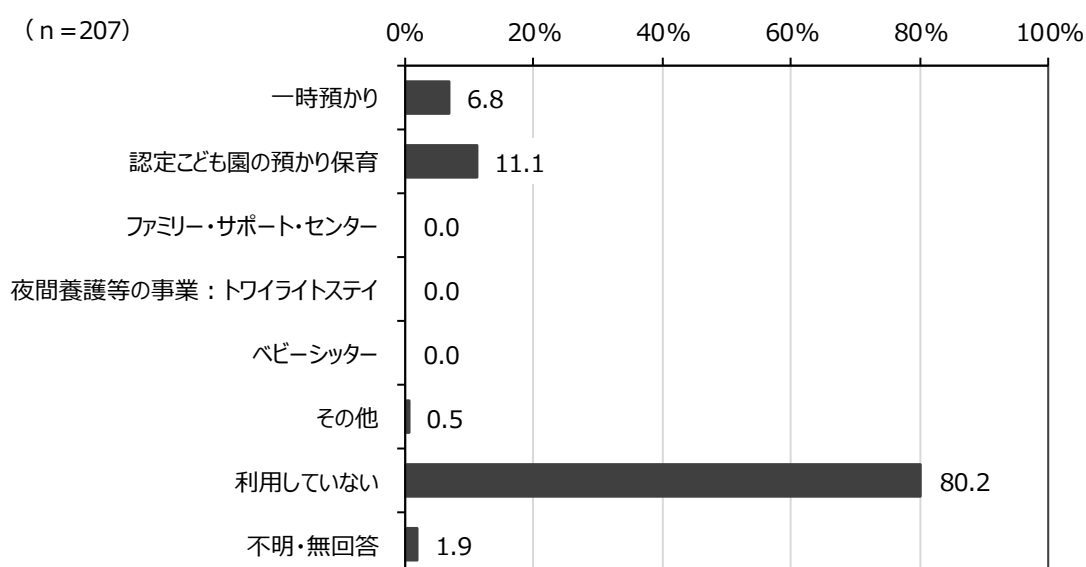
○日にちが決まっていて、いない人の代わりに入る仕事なので休めない。

○他職員から理解してもらえない(休まれては困る、急に休まないでほしい等)。 等

8 あて名のお子さんの「不定期の教育・保育利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用」について

問 35 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（複数回答）

「利用していない」が80.2%と最も多くなっています。また、利用している事業をみると、「認定こども園の預かり保育」が11.1%、「一時預かり」が6.8%となっています。



■ 事業別利用日数（「利用していない」以外を選んだ方／数量回答）

「一時預かり」では「10～19日」（35.7%）が、「認定こども園の預かり保育」では「30日以上」（39.1%）が最も多くなっています。

単位:%

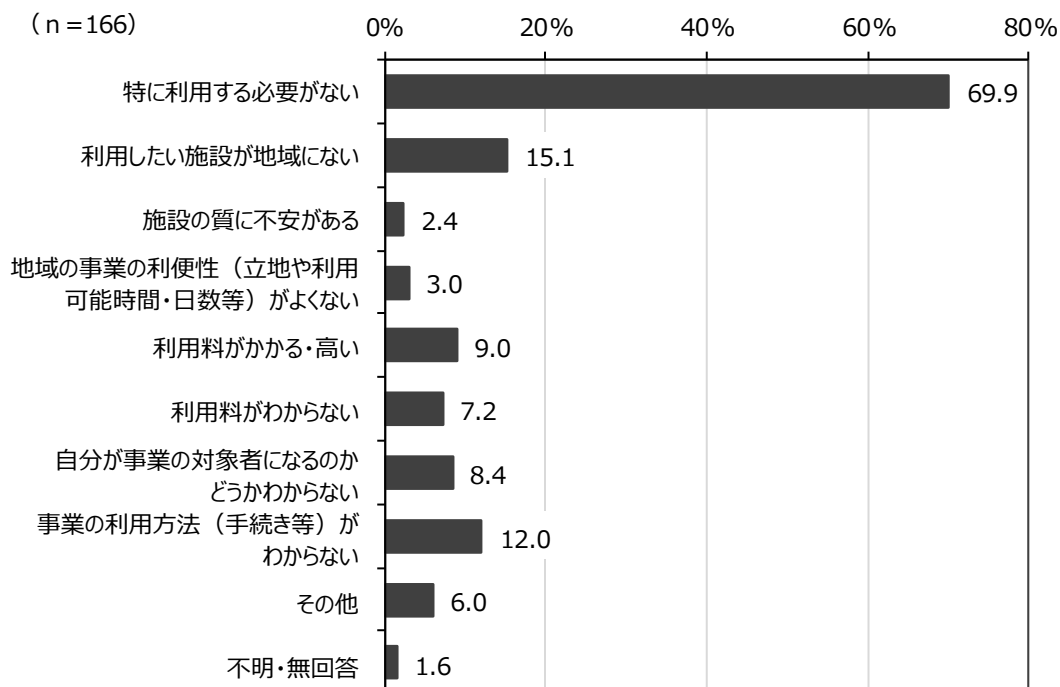
	n	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
一時預かり	14	21.4	21.4	35.7	0.0	21.4	0.0
認定こども園の預かり保育	23	8.7	8.7	30.4	4.3	39.1	8.7
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※グレー部分は、最多項目

【問 35 で「利用していない」に○を付けた方】

問 36 現在利用していない理由は何ですか。（複数回答）

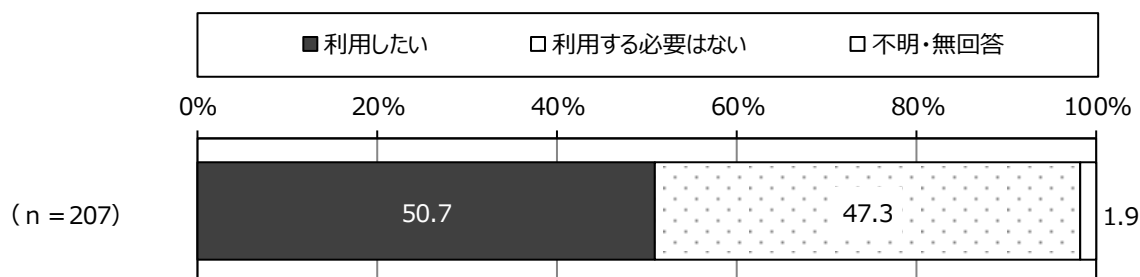
「特に利用する必要がない」が 69.9%と最も多く、次いで「利用したい施設が地域にない」が 15.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 12.0%となっています。



問 37 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時保育の利用希望はありますか。利用希望がある場合、年間何日くらい一時保育事業を利用する必要があると思いますか。

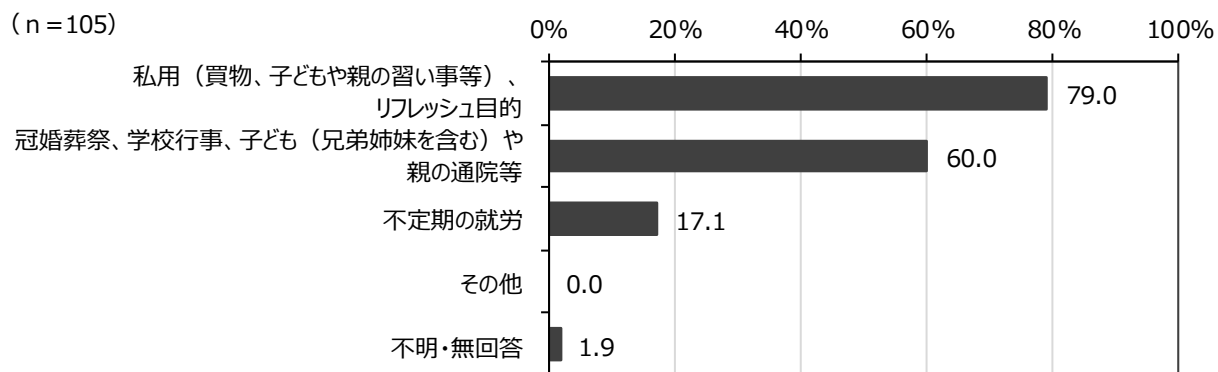
■ 一時保育の利用希望（単数回答）

「利用したい」が 50.7%、「利用する必要はない」が 47.3%となっています。



■ 利用したい目的の内訳（「利用したい」を選んだ方／複数回答）

「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が79.0%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が60.0%、「不規則の就労」が17.1%となっています。



■ 利用したい目的別・年間日数（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

「利用したい年間合計日数」と目的別内訳の年間日数をみると、いずれも「10～19日」が最も多くなっています。

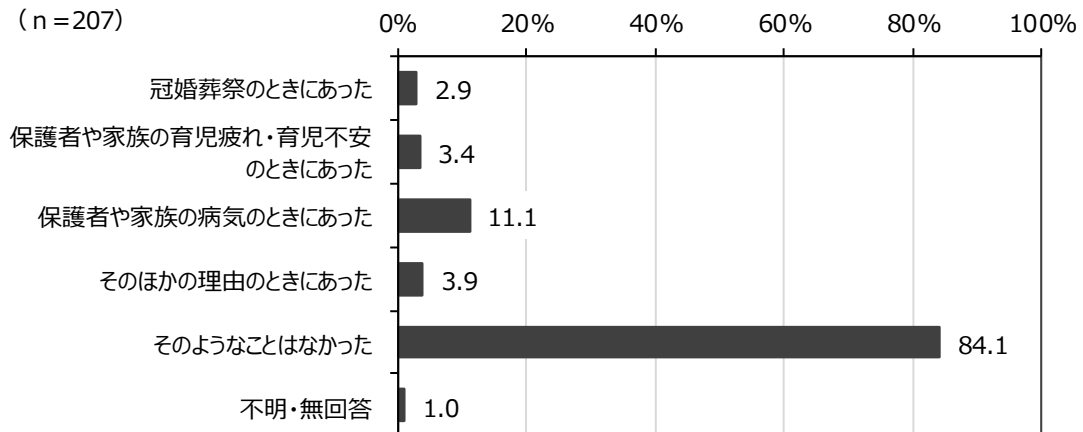
単位: %

		n	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
利用したい年間合計日数		105	3.8	15.2	32.4	20.0	20.0	8.6
目的別内訳	私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	83	9.6	21.7	43.4	7.2	10.8	7.2
	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	63	9.5	27.0	44.4	4.8	7.9	6.3
	不規則の就労	18	16.7	5.6	27.8	16.7	16.7	16.7

※グレー部分は、最多項目

問 38 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（複数回答）

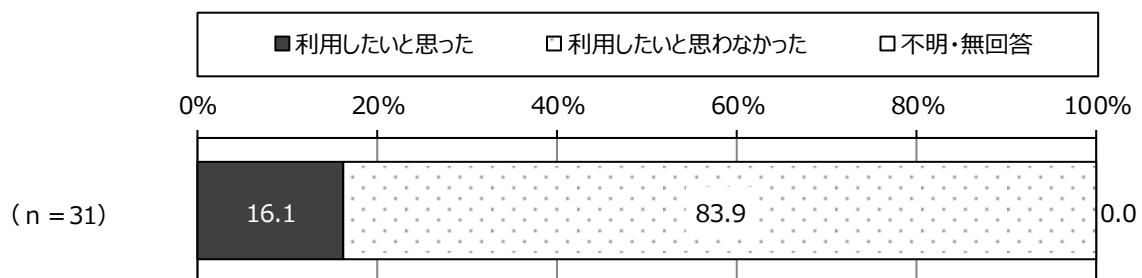
「そのようなことはなかった」が84.1%と最も多く、次いで「保護者や家族の病気のときにあった」が11.1%、「そのほかの理由のときにあった」が3.9%となっています。



【問38で「そのようなことはなかった」以外に○を付けた方】

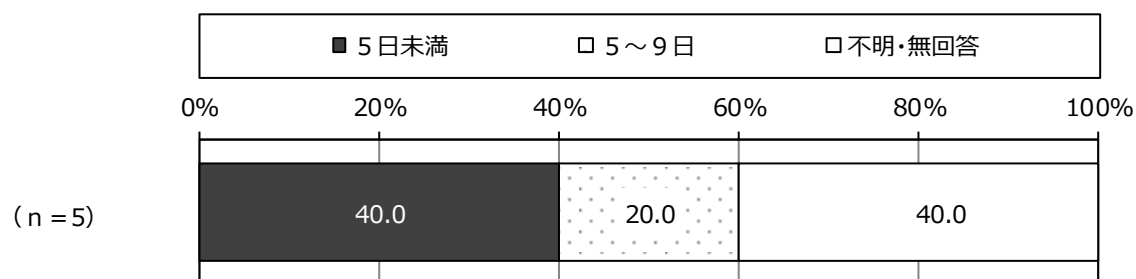
問 39 泊りがけで家族以外にあて名のお子さんをみてもらわないといけなかった時、短期入所生活援助事業（ショートステイ：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思いましたか。（単数回答）

「利用したいと思った」が16.1%、「利用したいと思わなかった」が83.9%となっています。



■ 利用希望泊数（「利用したいと思った」を選んだ方／数量回答）

「5日未満」が40.0%と最も多く、次いで「5～9日」が20.0%となっています。



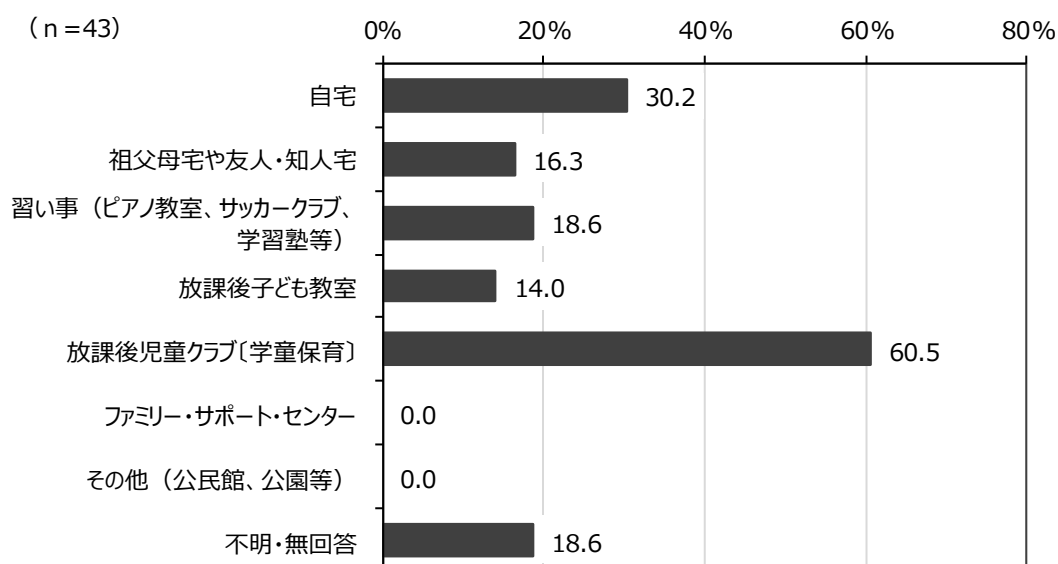
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

【あて名のお子さんが5歳以上である方】

問 40 お子さんについて、小学校のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）

■ 放課後を過ごさせたい場所

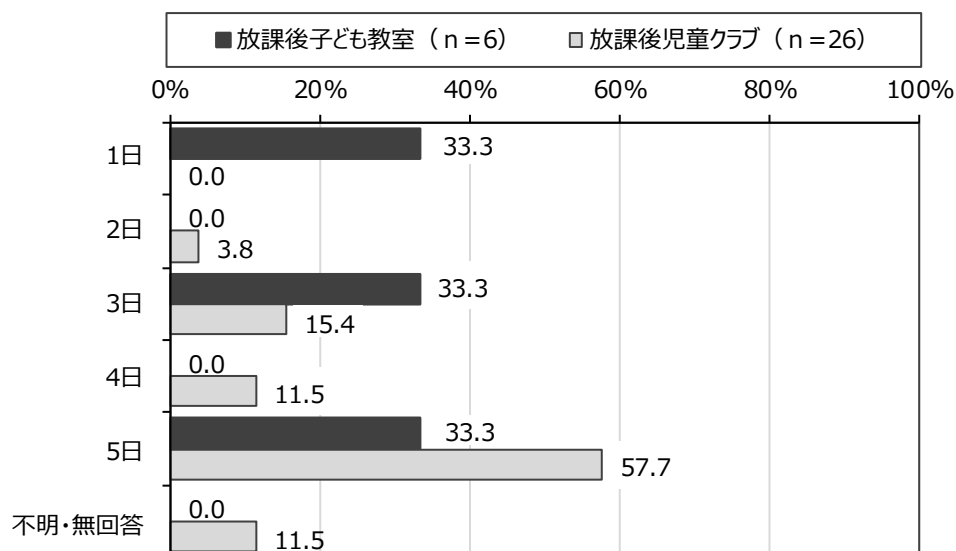
「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が60.5%と最も多く、次いで「自宅」が30.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が18.6%となっています。また、「放課後子ども教室」は14.0%となっています。



■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの平日 5 日のうち週あたり利用希望日数 (「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答)

放課後子ども教室の週あたり利用希望日数をみると、「1 日」と「3 日」、「5 日」がいずれも 33.3% となっています。

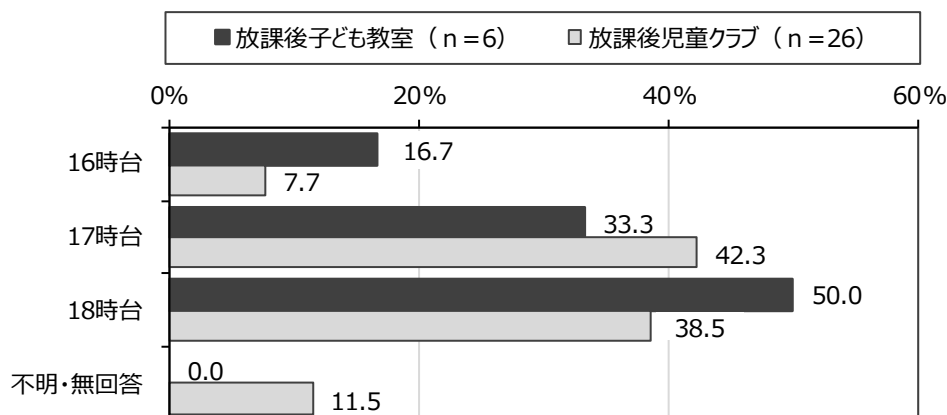
放課後児童クラブの週あたり利用希望日数をみると、「5 日」が 57.7% と最も多く、次いで「3 日」が 15.4% となっています。



■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用終了時刻 (「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答)

放課後子ども教室の利用終了時刻をみると、「18 時台」が 50.0% と最も多く、次いで「17 時台」が 33.3% となっています。

放課後児童クラブの利用終了時刻をみると、「17 時台」が 42.3% と最も多く、次いで「18 時台」が 38.5% となっています。

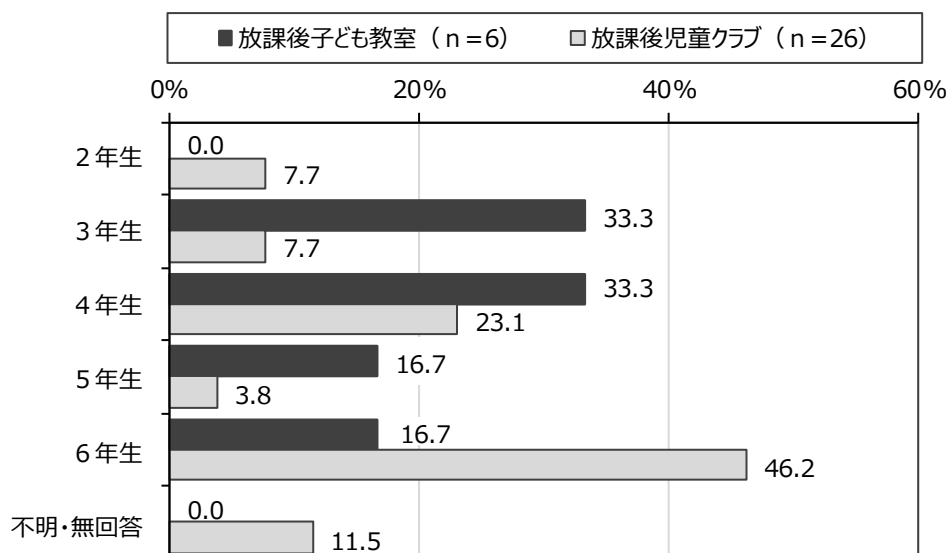


■ 放課後子ども教室と放課後児童クラブの利用最終学年

(「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」を選んだ方／数量回答)

放課後子ども教室の利用最終学年をみると、「3年生」と「4年生」がともに 33.3%と最も多く、次いで「5年生」と「6年生」がともに 16.7%となっています。

放課後児童クラブの利用最終学年をみると、「6年生」が 46.2%と最も多く、次いで「4年生」が 23.1%となっています。



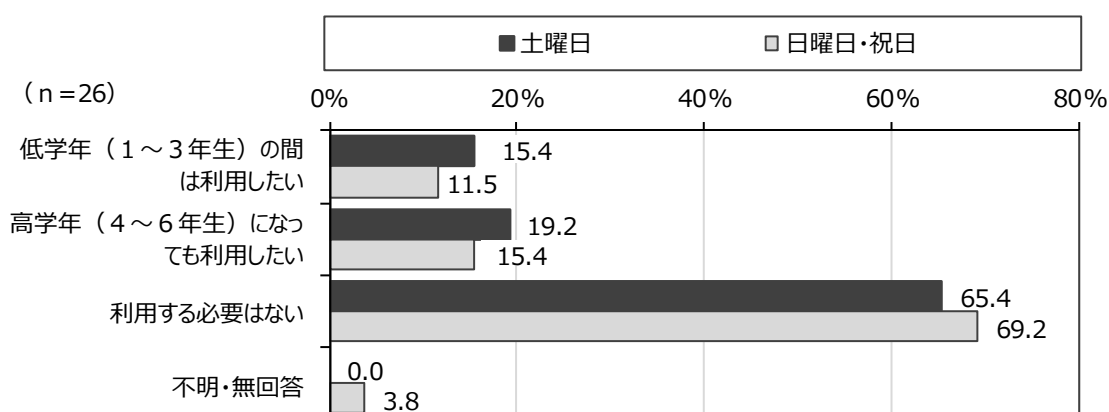
【問 40 で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○を付けた方】

問 41 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

■土曜日と日曜日・祝日の利用希望（単数回答）

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が65.4%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.2%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.4%となっています。

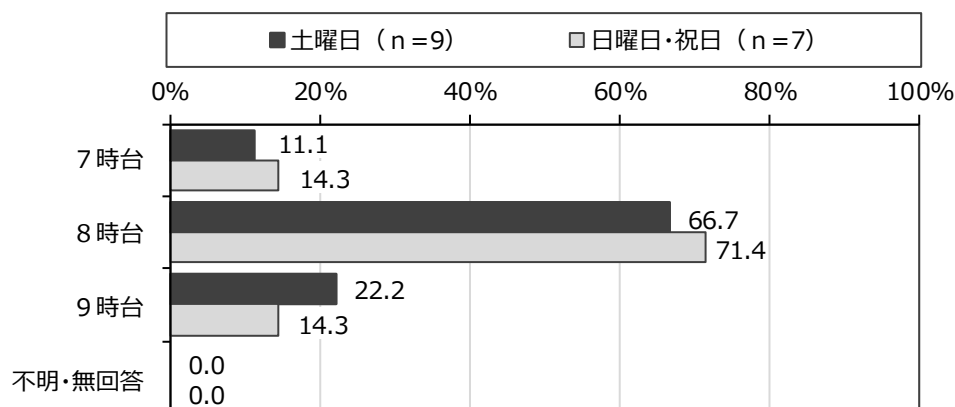
日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が69.2%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が15.4%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.5%となっています。



■土曜日と日曜日・祝日の利用開始時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

土曜日の利用開始時刻をみると、「8時台」が66.7%と最も多く、次いで「9時台」が22.2%、「7時台」が11.1%となっています。

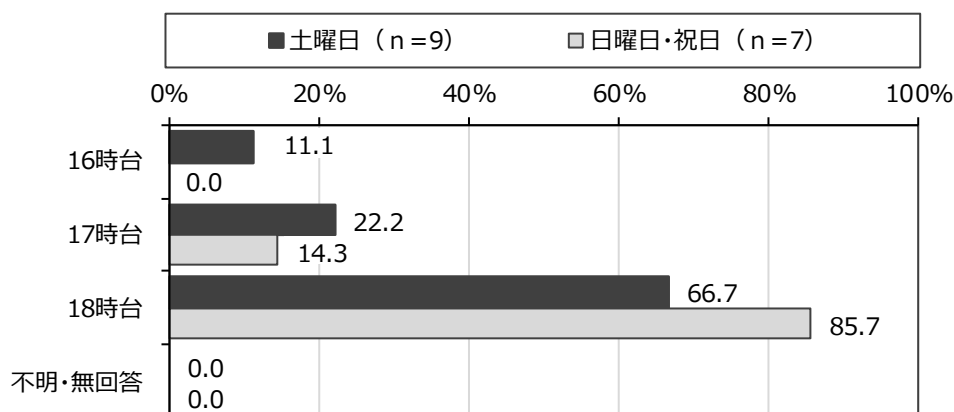
日曜日・祝日の利用開始時刻をみると、「8時台」が71.4%と最も多く、次いで「7時台」と「9時台」がともに14.3%となっています。



■土曜日と日曜日・祝日の利用終了時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

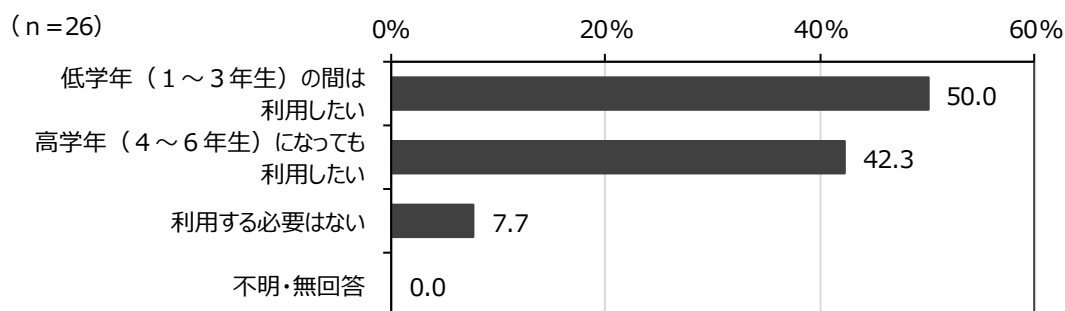
土曜日の利用終了時刻をみると、「18 時台」が 66.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 22.2%、「16 時台」が 11.1%となっています。

日曜日・祝日の利用終了時刻をみると、「18 時台」が 85.7%と最も多く、次いで「17 時台」が 14.3%となっています。



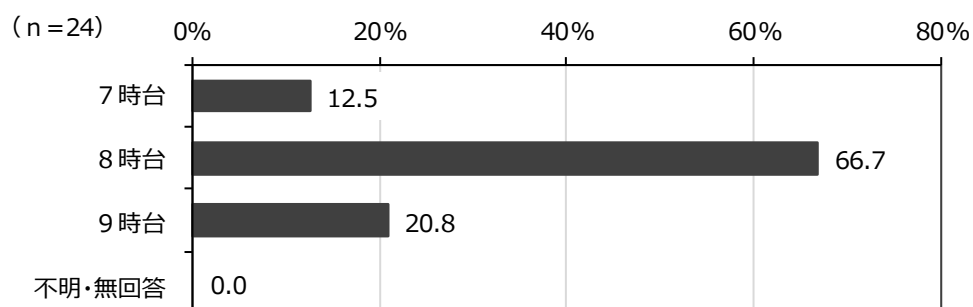
■長期休暇期間（夏休み・冬休み等）の利用希望（単数回答）

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 50.0%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 42.3%、「利用する必要はない」が 7.7%となっています。



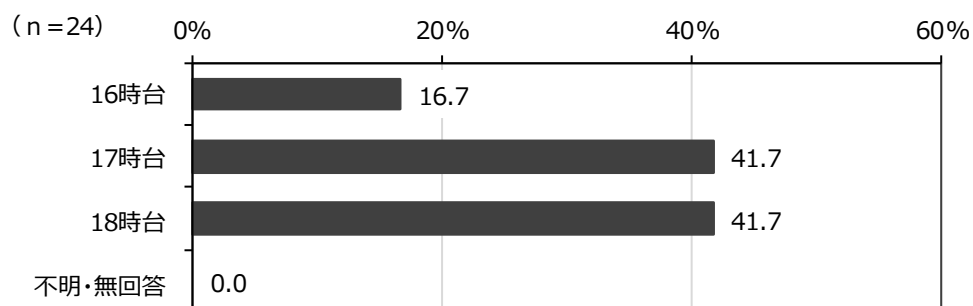
■ 長期休暇期間の利用開始時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

「8時台」が66.7%と最も多く、次いで「9時台」が20.8%、「7時台」が12.5%となっています。



■ 長期休暇期間の利用終了時刻（「利用したい」を選んだ方／数量回答）

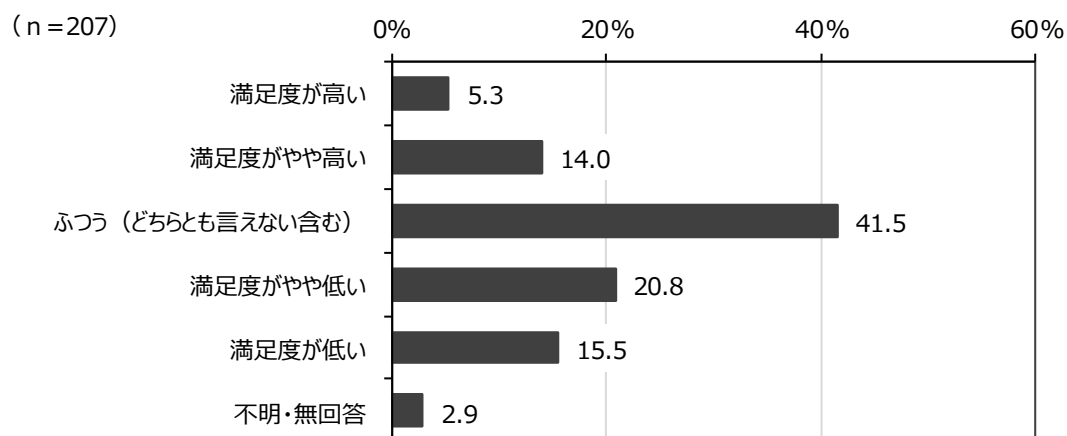
「17時台」と「18時台」がともに41.7%と最も多く、次いで「16時台」が16.7%となっています。



10 子育て支援施策の全般について

問 42 東吾妻町の子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。（単数回答）

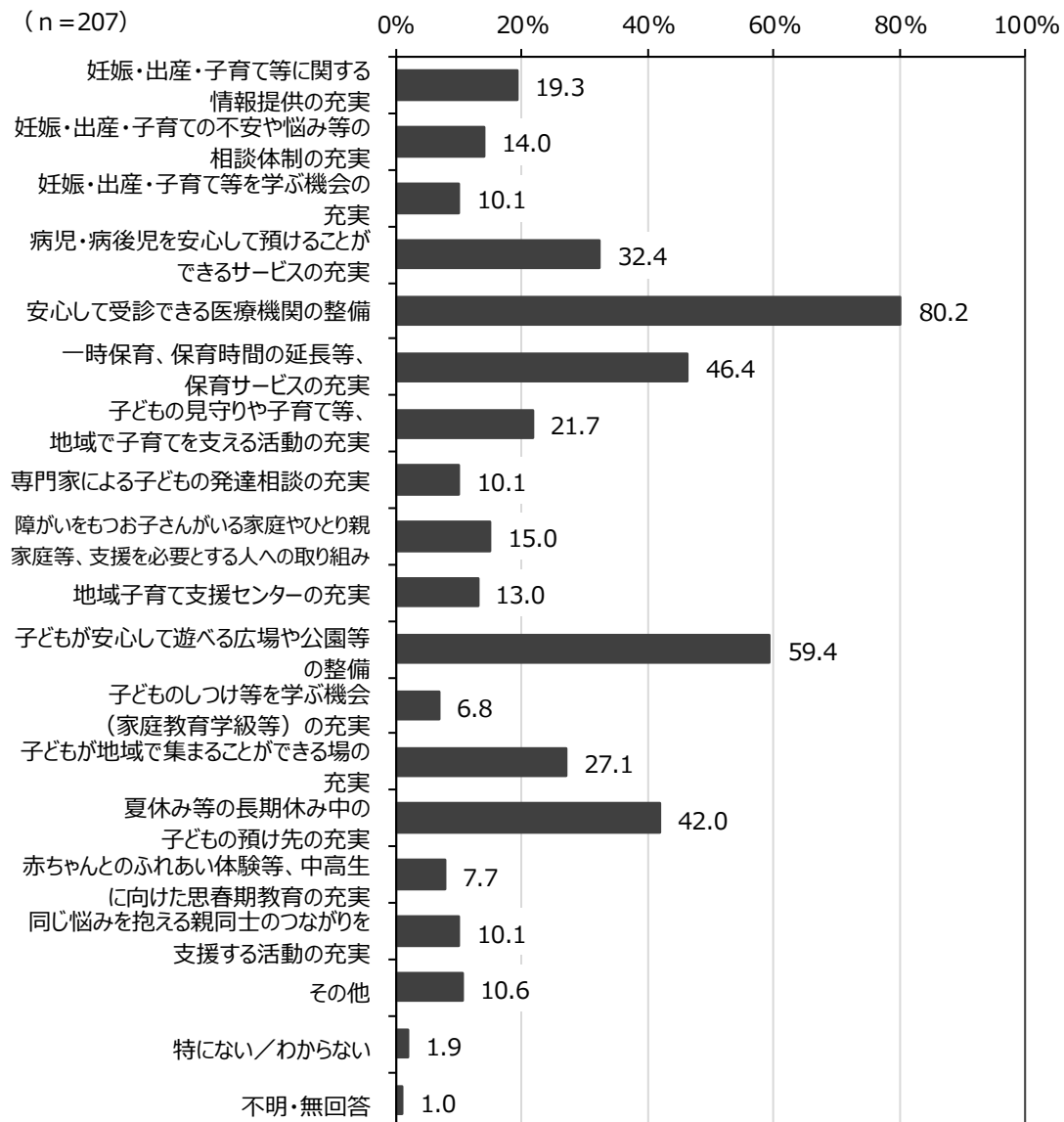
「ふつう（どちらとも言えない含む）」が41.5%と最も多くなっています。次いで「満足度がやや低い」が20.8%で、「満足度が低い」（15.5%）を合わせた“満足度が低い”は36.3%と、「満足度が高い」（5.3%）と「満足度がやや高い」（14.0%）を合わせた“満足度が高い”（19.3%）を上回っています。



問 43 今後、町として子育て支援施策に取り組んでいくために重要なことは何だと思いますか。

(最大5つまでの複数回答)

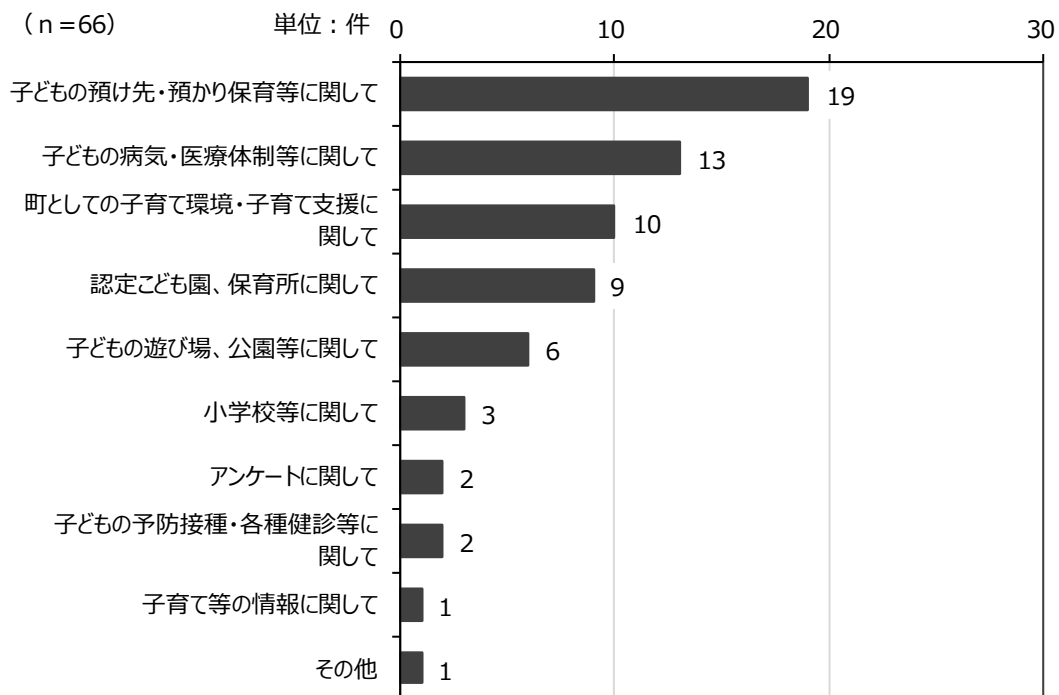
「安心して受診できる医療機関の整備」が80.2%と最も多く、次いで「子どもが安心して遊べる広場や公園等の整備」が59.4%、「一時保育、保育時間の延長等、保育サービスの充実」が46.4%となっています。



問 44 最後に、教育・保育環境の充実等、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（自由回答）

自由回答をみると、「子どもの預け先・預かり保育等に関して」が 19 件と最も多く、次いで「子どもの病気・医療体制等に関して」が 13 件、「町としての子育て環境・子育て支援に関して」が 10 件となっています。

※自由回答の回答件数は 66 件で、複数の内容について触れている回答については、冒頭に触れている内容を基本に分類させていただきました。尚、一部の回答の記載において、回答の主旨を尊重しながら表現をまとめる等の修正をしています。



子どもの預け先・預かり保育等に関して

共働きが主体となっている現在の社会で、子どもの預け先が少ないと感じる。職場復帰したくても入所できる年齢が限られていて、早期復帰が難しい。また、職場環境により他の市町村へ預ける事ができたらどんなに良かったかと今でも感じている。制度の見直しを強く願う。

保育所について、上の子が通っている途中で、下の子が産まれ母親が育休に入った為、上の子が保育園を退所する事となった。出産後で体調が良くない中で、下の子を見ながら上の子の相手をするのは大変だった。母親もその期間はノイローゼ気味であった。今後はもっと入所等の条件を町独自で緩和して、産後のお母さんにも優しい子育て環境の整備をお願いしたい。また、近くに公園等がない為、学校施設等の利用も検討してもらいたい。

認定こども園の一時預かり。利用可能日数が増えてほしい。申し込み用紙への記入様式が改善されると良い。毎月の申し込み期限があり、緊急時の申し込みがしにくい雰囲気がある。用紙に理由などを書くのも手間である。子育て支援に関して、意見を述べる機会ができた事はありがたいが、子ども1名につき、1つのアンケートは大変でした。お仕事をしている家庭は尚更ではと思います。どうかこのアンケートの意見が届き、住民の目に見える形で子育て支援の充実が実現する事を願います。

預かり保育の拡充。今年度から、はらまち保育所の預かり保育で利用人数が増えて、利用がしやすくなったが、定期的に通院したり何らかの理由で利用したいという人は、まだいると思う。費用の負担を軽減したり、もう1ヶ所くらい選択肢があっても良いのではないかなと思う。また月7日という利用枠も、もう少し増えると嬉しい。支援センターや子育て支援イベントの充実。町内の支援センターが1ヶ所しかないのが大変。もう1ヶ所くらい増設してほしい（保育所などの空き教室などでも良いと思う）。またピヨピヨクラブやラッコクラブの開催日数を増やしたり、支援センター主催のイベントを増やしてほしい（クリスマス会、〇月の誕生日会など申し込み制のイベントがあっても良いと思う）。

子育てに関して預ける事ができれば仕事できるのは当然だと思いました。子どもを預ける時間を増やしたり延ばしたりよりも、職場に務める大人がもっと寛大に応援や許容できるようになればよいと思いました。

園で夕方まで過ごす時間がある為、希望制で体操教室等の実施。1号認定の子どもも、月に何回か夕方まで預けられる等の支援（理由は問わずに）。町内における習い事等の紹介。子どもが少なく、しかも幼稚～中学まで同じメンバーで生活する為、いじめや環境が合わなかった時に逃げ場がない（家族で引っ越すか私立に通うしかない）。住所地に関係なく（近隣町村含め）転校できるようにする。保育料を無料でなくてもよいので、先生の数を増やす、若い先生の採用。

祝日、土日も仕事があるため、子どもを預かってくれる所が欲しいです。できればいつものこども園でみて頂ける事を希望します。祝日・土日は違う所へ預けると子どもがとても嫌がり不安定になる為、いつも通っている所に預けられる事に意味があると思います。

保育所の一時預かりができる人数が少なすぎる。就労していないと預けられない制度を見直して欲しい。公園の遊具の充実。祖父母と同居している場合、希望保育はできないという制度を見直して欲しい（祖父母に複数人の子どもを預ける事の大変さを知って欲しいと思います）。子育て支援とは何かを教えてほしい。1人の祖母に7人の子ども（孫）を預けるのはどうなのでしょう。祖母1人で子ども7人も預かりますか、と言いたいです。支援はないのでしょうか。

親の就労時間（又は就労）に関わらず、全員の子ども達に対し時間を区切らず保育をして頂きたいと思います。

共働き家庭が増え時代も変わってきているので、子どもの面倒は親が見るべきという古い考え方は変えていって頂きたいです。全部を保育所等に押し付けるという事ではなく、仕事をしている間だけは保育所等に手助けをお願いしたいという事が年配の方々にはまだまだ理解いただけないようです。子どもを産んで8ヶ月になるまで預け先がなく、子どもが寝てる間だけでも何かできる仕事をとっと思っても上の子がいる場合、保育所等は退所となってしまう上の子の面倒で仕事もできない状態です。今は在宅ワークも増えていたりします。働き方も色々です。昔とは違うという事を考慮してほしいと思います。

土日・祝日とともに、仕事等やむを得ない場合は、いつでも子どもを預けられる所がほしいと思う。
親の病院、美容室など、子どもが気軽に預けられる所があると良いです。
子どもは現在、保育所に平日は行っているが、もう一時間働きたい気持ちと、早く迎えに行きたい気持ちと両方ある。まだ小さいので、こども園に入るまでは時短で働く事を決めた。祖父母も近くに居るが、風邪などを引いた時は看てもらっているため、有難いと思う。自分が病院に行くなどで突発的に子どもだけ預けられれば理想的だが、食事の準備や布団など、色々な準備がありそうなので、難しい気がする。
今年度から、はらまち保育所の一時預かりの人数が1日に3名までとなり、とても感謝しております。保育所の先生方もとても熱心に見てくださるので、安心して預ける事ができます。一時預かりの担任の先生を2名に増やして下さった事で、予算も増えた事と思いますが、有意義な税金の使い道だと思いますし、感謝しております。今後も子育て支援がより充実する事を願っております。
産後2ヵ月を経ても、赤ちゃんのお世話は大変です。生活リズムは整わず、夜間授乳で寝られず、産後の身体は回復途中です。そんな中で上の子を家でみるのはもっと大変です。休めません。産後に「家に人がいる＝家で保育ができる」ではありません。子育て世代に優しいまちになってほしいです。また、このアンケートが活かされる事を願います。
基本的に「祖父母が近くに居て子育てを助けてくれる」事が前提となっていると感じる事が多かった。例えば小学校の面談中、預け先がない事、PTAの集まりが夕方に行われるが、その時に子連れで行ったのはうちだけだった（皆、祖父母の家に預けている）など、保育所でも何かあれば祖父母に迎えに来てもらって下さい。というスタンスなのだと感じる事が多かったです。お父さんが家にあまりいなくて、お母さん1人で子育てしている、という方が都会に比べて少ないのだとは思いますが、そういう方が安心して相談できるような環境があれば良いと思います。
「東吾妻町の大切なお母さんと赤ちゃん」と言われていたが、昨年度から、保育所は無職の同居の人がいると、土曜日・預かり保育が、預けられなくなった。全ての町民が土日・祝日が休みではない。土日・祝日は、休みがあまりなく、ほぼ仕事の人は子どもをどうしたらいいのでしょうか。80才近くの祖父母が、面倒をみているが、事故等が心配です。
現在育児休業中で、こども園・学童保育が利用できずにいる。休職中ではあるが、利用できたらとても助かると感じています。
毎年4月1日が休園になりますが、4月1日は民間企業も休みがとりにくい日ですので、子どもを預かれる場所を希望します。2人目のお子さんが出来た時、お母さんが産休に入ると昨日までいた友達がいきなりいなくなったり、早く帰ってしまったこと等があります。母親の負担の軽減の為に、認定の枠を超えて気軽に子どもを預けられる体制が必要だと思います。土曜日の希望保育の締め切りが早すぎて、仕事の依頼があっても断らざるを得ません。締め切り日を遅くしてほしいです。子どもが病気になった時（病気が軽い場合）は預かってもらえる場所が必要です。「子持ち様」の言葉があるように、実際に会社を休むのはかなり大変です。実際に母親は上司に皮肉を言われた事があるそうです。

子どもの病気・医療体制等に関して
子どもが風邪を引いた時に預けられる所がほしい。ひとり親へ子育て支援がもう少しあってもいいのではと思う。病院の充実。
急な発熱時に診てもらえる医療機関がない事が残念。平日なのに昼間は休診となると渋川、前橋の小児科へ受診しなくてはならないことにリスクを感じており、40.0℃も熱がある時は親一人で連れて行くのにもとても大変で、初めて受診する所へは不安もあります。近くのかかりつけの病院でせめて平日くらいは1日診てもらえる体制になっていただけるととても助かります。今現在、原町日赤小児科では月・木・金・土の午前のみの診察となっていますが、平日午後に医師がいるのに診てもらえず、遠くへ受診しに行かなくてはならないのは子どもにとっても負担になるので、どうにかならない事かといつも不満に感じてしまいます。子どもが熱を出して具合が悪くなる時間帯も曜日もわからないので、いつでも診てもらえるように安心感を持って子育てしたいのが子どもをもって一番感じていた事でした。
町内に産科がなく周囲の町からもなくなるばかりなので、遠方の病院へ通うための補助などあったらと思っています。産科が出来てくれれば一番安心です。
夜間の子どもが体調不良になった時に診てくれる病院がない、もしくは遠いのでとても不安です。東吾妻町へ引っ越してきて、初めての出産、育児となった子で、一時金などの支給があり、とても助かったと思いましたが、近くに産婦人科がない、産院がないという部分で不便さがあったり、今後長くお付き合いしたいと思える通いやすい小児科がないという事も育児面で不安があります。この町で子どもを産み育てたいと思える、妊娠中～出産～育児～教育という長いスパンで、きめ細かくサポートをしてもらえる子育て支援がほしいと感じています。支援センターが1ヶ所だけでなく複数あってほしい(町外から来る方もいるので雨の日に混む)。室内で遊べる施設があれば有料でもいい。産後ケアの日数、利用期間を増やしてほしい。
病児保育が欲しい(学校、こども園の行事などで有休が減ってしまう為)。第1子が保育中、第2子が産まれると退園するのは納得してない人が多いと思う(家で見るのが1番は分かる)。そういう事があるので子どもが増えないと思っています。
出産する病院がなく不安。小児科が少ない。病後保育施設がほしい。
現在は、祖父母が近くに居る為、風邪などを引いて子どもが休んでも、何とか仕事に行けている。しかし、親族が近くに居なければ両親だけで看なければならず、仕事なども休む事が増えるだろうと思う。風邪を引いている子どもを集団の中で看てもらうのも悪い気がするので、やはり、親族に頼るしかないを考える。今後、子どもが小学校などに上がった時に、働き方をどうするか考え中である。
町内に小児科がないので、緊急時に対応してくれる小児科が欲しいと思います。実際に私が利用した、西吾妻病院での産後ケアサービスは本当に良かったので、産後のママさん達にもっと積極的にすすめるべきだと思います。助産師さんに話を聞いてもらえるだけでも気持ちが楽になります。地域で子育て支援の交流の場を設けても、実際に参加するかとなると気が引けてしまうのが現状です。もっと気兼ねなく力を抜いて、参加したいと思えるような交流の場があればいいと思います。
安心して出産・子育てができるよう、医療体制がもっと整ってほしいです。産婦人科や小児科がもっとあると嬉しい。

医療機関（小児科）が充実してくれると助かります。現在は、診察してもらえない曜日だと町外に行かなければならないので、充実してもらえると助かります。ピヨピヨクラブ（月 1 回）とこども園の園開放（月 1 回程度）、両方行きたいのに同じ日のほぼ同じ時間に開催されるとどちらしか参加できません。両方とも月 1 回程度の開催なので事前に調整していただけると助かります。
産科が吾妻郡にない事は、子育ての環境として良くないと思います。日赤に子どもが入院できない事も、わざわざ東吾妻町で子育てしようと思えない大きな理由になると思います（実家があるから住んでいるという理由で、東吾妻町で子育てしているだけです）。
産科や小児科の充実なしには子どもは増えません。結局 2 人目を授かる事は出来ませんでした、授かる事への不安はとても大きなものでした。水曜日は診療所も日赤の小児科も休診のため、町外に受診する選択しかありません。充実している地域はやはり住民（子ども）が多いです。カインズの近くの川沿いの公園は切株があり、走り回る事が大好きな子どもがそこで転んだらケガをすと思う、連れて行くのを止めました。私自身が幼い頃、切株の所で転倒し顔を負傷したのもあり、怖いと感じます。
町としての子育て支援・子育て環境に関して
共働きで、祖父母等に頼らなくても子育てできる環境（習い事の送り迎えも含む）。ファミリーサポート事業を始めてほしい。集金の引き落としの手数料負担、または教材費の負担。給食費は無償化しなくて良いので、温かく美味しい給食が食べられると良いです。このアンケートの結果と、今後どうしていくのかをしっかりと伝えて欲しいです。
子育て世代が移住して住みづらい。自宅を建てられる土地が少ない。住宅取得への補助金の年齢制限。⇒要望・開けた場所に分譲地がほしかった（旧役場の跡地等）。40 歳未満という限定をなくす（アパートに住んでいて、40 歳以降子供が小学校へ上がる時に自宅を建てたい人もいる。知人は東吾妻で子育てしたかったが、土地や補助金を考えて引っ越してしまった）。
子どもが遊べる屋外がない。公園の整備（遊具が少ない、ベシシア公園の立地は良いが、芝生のせいで雨のあとしばらくぬかって遊べない。木陰もなく暑すぎて遊べない）。校庭・園庭等の開放（遊べる公園がないので）⇒要望・一部芝生をやめて、乾きやすくする。鉄棒や雲梯など、簡単な遊具を設置する。何本か木を植える。木の実拾いや落ち葉拾い、花の観察をしたい。自然に親しめる。土日に関放してほしい。しているなら周知してほしい（公園が整備されれば校庭等の開放はなくてもよい）。
保育所（こども園ではなく）の対応が厳しくて（2、3 年前のことで、現在は違うのかもしれませんが）、働きながら子育てするのがつらい。町の子育ての要だと思うので、もっと柔軟な対応ができるようにしてほしい（2～3 年前の事で現在は変わったのかもしれませんが。明文化されていないルール等があって、いつも何を言われるか不安でした。園長先生を始め、ほとんどの先生方は親身になって相談にのってくださいましたが、一部の保育士（パートの方と思われます）は、結構つらくあたってきました。何かルールがあるなら、先に周知しておいてほしい。働きながら子育てするのが本当に悲しかった。
子供が事故に合わないよう環境を整えてもらいたい（見えづらい所にミラーをつけるなど）。通学の際、地域の人に見守ってもらい安心して横断歩道など渡れると良い（時々高齢の方が信号に気づかず、赤でも止まらない人がいる）。危なそうな道にはガードレールをつけたり、狭い道は少し広くしてもらえたら良いと思います（自転車も通りやすくして欲しい）。

田舎に行く程、ぐーちょきパスポートの利用頻度が少ない。個人経営の店舗が多い為仕方がないとは思いますが、育児・生活の為に活用を機会を設けてほしい。子育て用品を買う為に、高崎や伊勢崎まで外出しなければならない。専門店の誘致で子育て環境の充実・支援をお願いしたい。
お世話になります。いくつか、こうだったらもっといいと思った事をいくつか書かせていただきます。オムツ代の補助の復活（オムツ代の1カ月の支出もバカになりません。物価高で毎回値上がりしています）。産前産後の上の子の預かり制度の見直し（一番手のかかる新生児と上の子の育児は本当に大変です。短い時間でもいいので預けられる環境を作っていただきたいです。育休から家でみられるという考えはなくしてもらいたいです）。お昼寝布団ではなく「コット（キャンプ等で就寝時に使用する簡易ベッド）」使用を検討していただきたい。シーツだけ（かけ布団は有り）の持ち帰りだけなので、洗濯もラク。窒息の危険性もなくなります。地域活性化もありますが、まずは家庭の負担をなくしていただきたいです。よろしくお願いします。預かり時間に関してですが、認定された時間（16時半）まで預けたいです。早く迎え来てくださいというのわかるが、上の子の下校時間もあるので。
保育料が東吾妻は有料なので、無料にしてほしい。せめて保育所を病気等で預かってもらえない分の値引はしてほしい。納得がいかない。発表会等、親が参加できるイベントが少ない。
保育料の無償化と仕事をしていなくても保育所に預けられるようにしてほしいです。1人、2人と子供を産んでいく中で、上の子を見ながら下の子のお世話もとなると、どうになってしまうのかと不安です。上の子だけでも預けられる場所があればいいと思います。
近隣町村と比べ出産祝い金が少なく、保育料も吾妻郡全体でみても無料化になっている町村が多く、東吾妻町は劣っている部分が多いと感じます。今の子育て支援体制では若い人がより減ってしまうと思います。素早い対応をお願いします。
早期に保育所利用料の無償化をお願いしたい。病気で保育所を休みがちなので、利用日数に応じた保育所利用料の支払いにしてもらいたい。子供の定期健診時、他の年代の子供との合同健診が多いのですが、人数も多く騒がしい為保健師の方とゆっくり話をする事が出来ず不満に思う事があった。他人に聞かれたくない事もある為、保健師との面談時は別室で対応する等の配慮を求めます。
学校から帰宅するとユーチューブばかりで、近所に子供がいらないから仕方ないと可哀想になります。とにかく子供が少ない。中之条のように色々な取り組みをして、活気のある町づくりをしてほしいです。
認定こども園、保育所に関して
親の仕事が休みの時はなるべく休ませる、早く迎えに来るようにと言われてますが、少しストレスを感じます。毎回ではないにしろ、たまには休んだり、1人になりたい、私的な用事を済ませたいと思うが、気を遣ってしまう。先生によるのか、園の方針なのか、国の方針なのかわかりませんが、仕事の休みを毎回休ませるのは辛いと感じてしまう時があります。また預けっぱなしにするのも罪悪感を感じてしまいます。
保育所に通っている子供に下の子ができ、母親が育児の為に家にいるからという理由で、保育所が産後8週間で退所になる決まりを見直して欲しいです。8週間では体は回復しませんし、小さい赤ちゃんを見ながら、1～3才の子どもの相手をするのはとても大変です。

2人目の出産に伴い、1人目の子が保育所を強制的に退園となるシステムは、改めた方が良いと感じる。
現在通園中のこども園の行事が、全て平日の為、運動会などをできたら土日に行うようにして頂けると助かります。自然に囲まれ、四季を感じながらの生活に幸せを感じています。
仕事をしているので保育所やこども園の行事が平日にあるのが、仕事を休まないと参加できないので、負担がある。土・日に行っていただけると、とてもありがたいです。自然豊かな環境なので、山登りや自然を体験できるイベント（子供参加OK）などがあったらぜひ参加したいです。
数年前より、保育所の体制や雰囲気がとても良くなったと思います。東吾妻で子育てをしたいと思えるような支援を増やして欲しいです。
こども園のお昼寝の時間が長すぎるのが気になります。お昼寝が長すぎて夜なかなか寝ないという話をよく聞きます。働き始めたのですが、それがネックなので1時半のお迎えに行けるように仕事を調整していますが、せめて2時まで寝かせずに預かってもらえたらありがたいと思っていますし、周りでもよく聞こえてくる意見です。
土曜日の勤務をしたいが、認定こども園が土曜日は集約されてしまう為、いつもと違うこども園に行くのは嫌がって利用できない。こども園、学童保育ともに自分の地域で利用できたら嬉しい。
いつも子供達を見守り、一緒に育てて頂いているこども園の先生方には大変感謝しています。こども園での様子を細かい所まで教えていただく事で、日々の様子を知らずして安心して預ける事ができています。子供の人数が少ない事で困る事も沢山ありますが、少人数だからこそその良さもあると感じる3年間でした。ただ、この少人数の子供達が、小学校ではなく中学校で一緒にいるのは、とても負担が大きいと思います。小学生のうちに他校とふれあう機会を多くするなり、対応を願います。
子どもの遊び場、公園等に関して
休日の雨の日、暑い日、寒い日の遊び場がない。児童館のように土日でも開いていて、子ども達が遊んだり学んだりできる場所がほしい（支援センターが土曜日開いたのは、よかったのですが、小学生は行けない）。ワンオペ（育児・家事のほとんどを一人で行うこと）で子どもを見る親御さんの助けとなる場所が必要。子ども達が様々な体験ができるイベント、体験教室のようなものがほしい。先日行われたスポーツフェスティバルだけでなく規模は小さくても、スポーツ、芸術、化学、料理、手芸など有料でもいいのであれば参加したい。また、イベントの情報などがSNSやホームページなどで手軽に検索できるようにしてほしい。
公園の遊具が少ない。良い小児科の病院がない。
休日、町内で子供が雨風など天候を気にせず遊べる場所が他市町村に比べると少ないように思います。地域柄かもしれませんが、ファミサポや病児保育などをもっと積極的に重要視して頂けるともっと子育てしながら働きやすいです。
公園など子供が遊ぶ所をしっかり手入れしてほしい。草がすごかったり、遊具がボロボロだったり、遊びづらい。
公園を増してほしい。町の子育て支援「ラッコクラブ」や「ピヨピヨクラブ」を様々な曜日で開催していただけると参加しやすい。
夏の公園が昨今、とても暑いので、滑り台を熱くなりにくい素材にしたり、ミストを導入したりしていただけると、外でも遊べて助かります。

小学校等に関して
どんどん子供の人数が減っていつているのだから、小学校も統合した方がいいと思います。男女比が偏っていたり、クラス替えがないと関係性は変わらないので苦しい子はずっと苦しいと思います。中学で不登校になる心配をしている保護者も少なくないので、小さい頃から一緒に過ごした方がそういった不安は軽くなると思います。
町内の出生数が減り、各地区の小学校へ通学する児童数も年々、少なくなっていると聞きます。少人数学級や複式学級だからこそその利点がある事も理解していますが、子供達の思い出に残りやすい行事（運動会や学習発表会等）を考えると、大人数で参加させてあげたいという想いもあります。町内の5校全ての統合は難しくとも、近場の学校からでも統合の案はあがらないでしょうか（それだと、さほど人数の変化はないかもしれません）。スクールバスの関係や子供達の起床時間等、課題は様々あると思いますが、10人未満で小学校6年間過ごすと考え、交友関係を広げ、より学びの多い環境で育て欲しい為、統合についてご検討いただけると幸いです。
人口が少ないので、小学校から町で統一にしてもらいたいです。ベイシア横の広場、犬のリードなしで散歩させている人がいます。衛生面を考えても、犬等は別のドッグラン的な広場で分けてほしいです。乳幼児～高校生まで、沢山の人が利用している場所ですので、より良い広場にして頂けたらと思います。
アンケートに関して
本アンケートをはじめ、スマートフォンを利用して情報収集・調査回答できるようにしてほしいです。理由としては、子どもを見ながら25分かかるアンケートに回答する事の難しさがあります。スマホであれば、子どもを寝かしつけたその場で回答できますし、机とペンを準備せずに対応可能です。アンケートの集計もデータ化が容易で、お互いにメリットがあると思いますので、是非ご検討いただきたく存じます。
アンケートの量が多い。
子どもの予防接種・各種健診等に関して
町のフッ素の待ち時間が長い。他の検診もそうですが、お昼寝の時間にあたり待ち時間もありません。子どもも親も疲れてしまう。こども園や小学校内で、有料でスポーツ教室などの習い事が出来るシステムがあるとありがたいです。仕事をしていると送り迎えの関係で出来ない習い事があるため。
予防接種や検診について、東吾妻町では指定日に指定された場所で受ける事になるが、かかりつけ医に自分のタイミングで受けられるとありがたい。にこにこひろばについて、4月から土曜日の午前中に開放していただき感謝しているが、夏は暑く、冬は寒い為、休日の屋内遊び場難民になっており、渋川まで出かける事が多い。可能であれば、休日の9:00-16:00くらいまで、お盆休みや冬期休みの時にも開放してほしい。日赤の小児科について、現在は月、木、金の午前中しか受診が出来ず、ほぼ受診不可能です。火、水、午後受診可能を希望します。
子育て等の情報に関して
子育て支援についての内容を、町のホームページに見やすく掲示して欲しいです（妊娠中に調べたのですが分かりにくかったので。後に保健センターから頂いた冊子で分かりました）。ママたちが参加しやすいマルシェなどがあれば、交流の場や気分転換にもなって良いと思います。渋川や高崎まで行って参加するには遠すぎます。町の出生率が低すぎるので、他の市町村の支援を参考に、何か出来る事をして欲しいです。

その他

子育ての環境について、町の防災放送、時刻のお知らせが煩わしい。新生児の時はもちろん、現在10カ月の今も、12時と17時のチャイムで睡眠を妨害されたり、怖がって泣いたりします。防災期間の時は朝7時と18時に放送が鳴り、多い日は1日に4～5回もあったりするのでとてもストレスです。なかなか寝れない子がやっと寝そうという時刻に鳴るので困ります。せめて、もっと音を小さくするなど対策してほしい。

東吾妻町子ども・子育てに関するニーズ調査結果報告書

発行年月：令和 7 年 3 月

発行：東吾妻町 編集：東吾妻町教育委員会事務局 学校教育課

〒377-0892 群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町 1046 番地

TEL：0279-68-2111（代表） FAX：0279-25-8177

URL：<https://www.town.higashiagatsuma.gunma.jp/>